

STAR

フォレージハーベスター

取扱説明書・部品表

製品コード K38157 • K38158

型式 MFH2520 • MFH2530

部品供給型式 AFH2530-01

ロークロップアタッチメント

製品コード K38128

型式 ARC2520

部品供給型式 ARC2520-01

ピックアップアタッチメント

製品コード K38135

型式 APU2500

ドッキングフレーム

製品コード K43067

型式 ADF1010

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社



安全に作業するため

安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。



その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。



本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。
 1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行って下さい。
 2. 酒を飲んだとき、過労ぎみ、病気や妊娠しているときは、作業をしないで下さい。
 3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
 4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
 5. 点検や調整をするときは、必ずPTOなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
 6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けで下さい。
 7. 他人に本機を貸すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすめて下さい。

部品番号 106164



運転中又は回転中、搬送チェーンおよび供給ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをすることがあります。

周囲に人を近づけないで下さい。

手供給する時は、必ず搬送チェーンの動力を遮断してから行って下さい。

部品番号 106476



ナイフを研磨する時、ナイフに接触すると、ケガをする事があります。

ナイフの研磨手順に従って行って下さい。

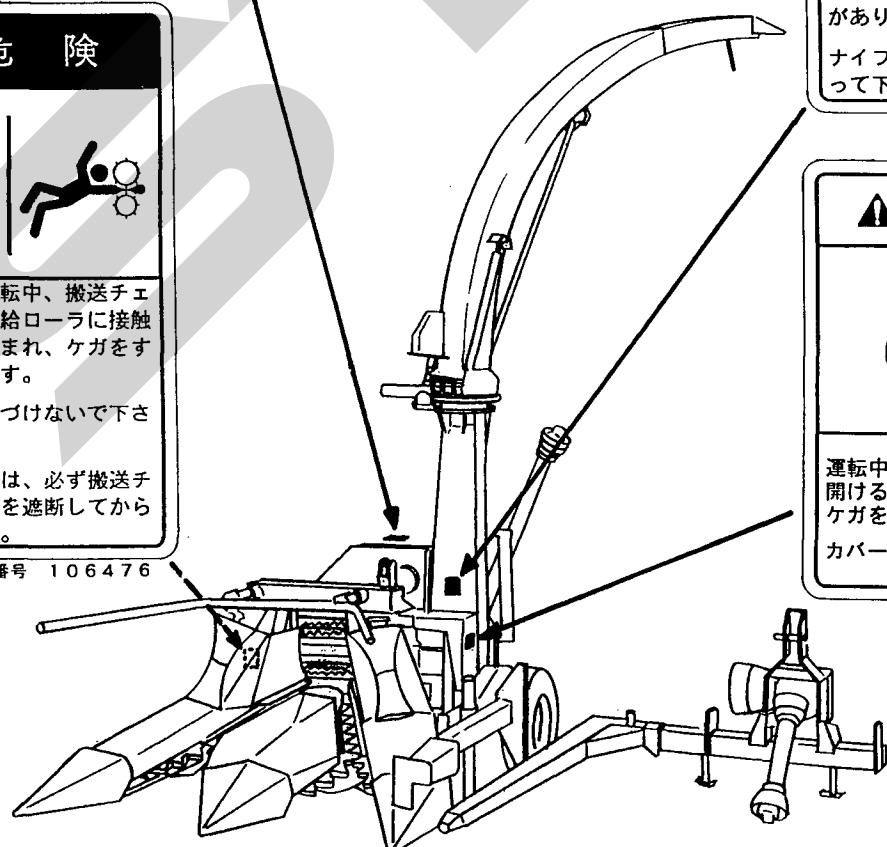
部品番号 106480

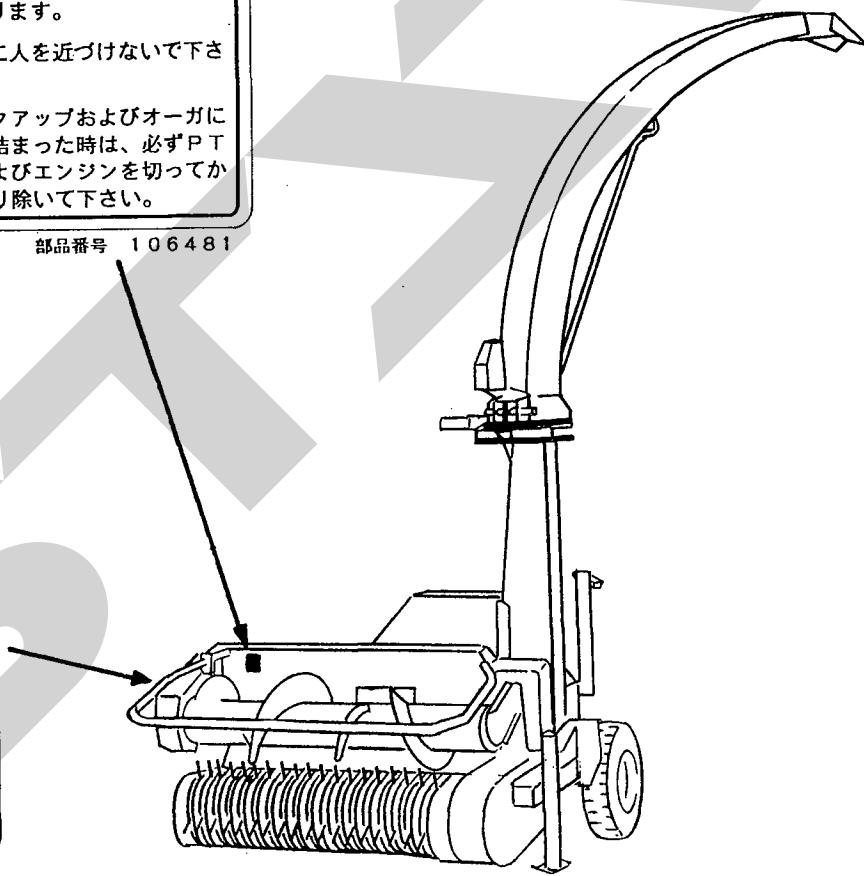
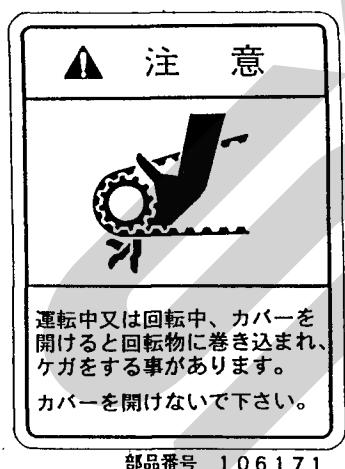
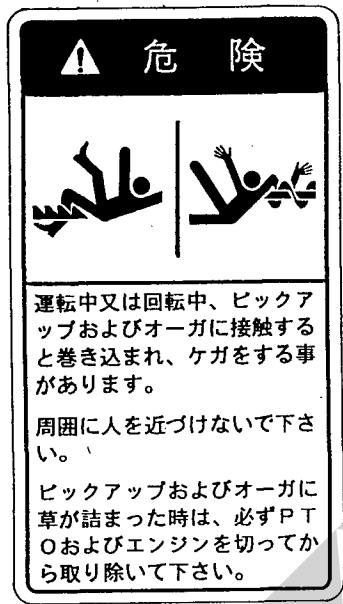


運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。

カバーを開けないで下さい。

部品番号 106171





— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。
ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。
注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてから行ってください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処し、トラブルやケガをする事があります。取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項・取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。

次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- ズボンや上着は、だぶつきのないもの

を着用する。

□帽子を着用する。

□はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は、

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

機械の改造はしないでください。

アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検をする時は

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行うと、緊急事態の対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。

運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。

- エンジンを始動する時、主变速レバーを「N」(中立)にして行わないと、变速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。主变速レバーを「N」(中立)にして行ってください。

- P T Oを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。

P T Oを切ってから始動してください。

- エンジンを始動する時、作業機を下限まで降ろして行わないと、不意に降下または上昇して、周囲にいる人がケガをする事があります。
作業機を下限まで降ろして行ってください。
- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。
周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。
- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。
窓、戸などを開け、十分に換気してください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- トラクタの3点リンクに本機を着脱するためにトラクタを移動させる時トラクタと本機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。
トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

▲注意

- 本機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- ハーベスター本体にアタッチメントを取り付ける時、衝突させると本体がバランスを崩し、後方に転倒しケガをすることがあります。
トラクタに本体を連結してからアタッチメントを取り付けてください。
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となり、思わぬ事故をまねく事があります。
トラクタヘバンパーを取付け、バランスを取ってください。
- バッテリからバッテリケーブルを外すときは（-）側から外し、取り付けるときは（+）側から行なってください。
もし、逆にすると作業中工具がトラクタに接触し火花が生じ、火災事故の原因になります。

パワージョイントを使用する時は

▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。
カバーのないパワージョイントは、使用し

ないでください。

- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。
損傷したらすぐに取り替えてください。
使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。
PTOを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないと使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。
適正な重なり量で使用してください。
- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをする事があります。
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。
トラクタに作業機を装着しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。
ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。

作業中は

作業する時は

▲危険

- 運転中又は回転中、搬送チェーンおよび供給ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
手供給する時は、搬送チェーンの動力を遮断してから行なってください。
- 運転中又は回転中、ピックアップおよびオーガに接触すると巻き込まれケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
ピックアップおよびオーガに草が詰まった時は、PTOおよびエンジンを切ってから取り除いてください。

▲警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
特に、子供は近づけないようにしてください。
- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。
指定回転速度を守ってください。
- ロークロップ部あるいは本機に長穡作物が詰まった時、手や足で押し込むと巻込まれ、ケガをすることがあります。
手足での押し込みはやめてください。
詰まりの除去を行う時は、PTO及びエンジンを切ってから行ってください。
- コーン引き起こし装置を装着した状態で手供給すると巻き込まれケガをすることがあります。
危険ですのでやめてください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。
低速で作業してください。
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。
- 坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、

トラクタには、運転者以外の人は乗せないでください。

- 高速運転・急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。高速運転・急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。
低速走行してください。
- 旋回する時、作業機が旋回方向とは逆方向にふくれるため、周囲の人に接触しケガをさせたり、対向物・障害物に衝突しケガをする事があります。
周囲の人や対向物・障害物との間に十分な間隔を保って行ってください。
- ほ場と通路の段差、側溝などの路肩付近を走行する時、近寄りすぎるとトラクタが横滑りや転倒し、思わぬ事故を起こす事があります。
路肩走行する時は、近寄りすぎないようにし、低速で走行してください。
- 田・畑への出入り、畦越えや段差の乗り越えをする時、斜めに乗り越えようしたり、直角に乗り越えようとすると、トラクタが横転・転倒し、ケガをする事があります。
あゆみ板を使用してください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- 作業機を折りたたまずに移動走行すると、障害物などにぶつかりケガをする事があります。
折りたたんで、移動させてください。

▲注意

- 本機はトレッドが狭いため旋回時、凹凸地・傾斜地の走行時転倒してケガをする事があります。
低速走行してください。
- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。
移動走行する時は、PTOを切ってください。

思わぬ事故を起こす事があります。
前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。

- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事がありますしっかりとハンドルを握って運転してください。
- ハウス内などの室内作業をする時、排気ガスにより中毒になる事があります。窓、戸などを開け、十分に換気をしてください。

▲注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、P T Oおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確めて行ってください。

本機から離れる時は

▲警告

- 本機から離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。
- 本機から離れる時、作業機をあげたままにしておくと、第三者の不注意により不意に降下し、ケガをする事があります。
下限まで降ろしてから本機を離れてください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検をする時は

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

- 3点リンクで本機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。
トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲警告

- ナイフを研磨する時、ナイフに接触するとケガをする事があります。
ナイフの研磨手順に従って行ってください。

▲注意

- ナイフを調整する時不意にフライホイールが回転し取り付けられたナイフでケガをすることがあります。
フライホイールの回り止めを確実に行い、作業してください。
- ナイフを研磨する時目に飛散物が入りケガをする事があります。
保護メガネを着用してください。
- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づいてください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬケガをする事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- P T Oおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。
P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります
下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

もくじ



安全に作業するため

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	6
作業前に	3	不調処置・点検・整備をする時	6
作業中は	5		

I ドッキングフレーム

1 トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	11	4 トラクタへの装着	12
2 適応トラクタの範囲	12	1. 3点リンクへの ドッキングフレームの連結	12
3 組立部品	12	5 パワージョイントの装着	13
1. 解 棚	12	1. 長さの確認方法	13
2. 組立部品の明細	12	2. 切断方法	14
3. 組 立	12	3. 安全カバー脱着方法	14
		4. パワージョイントの連結	14

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	15	2 エンジン始動での点検	15
1. トラクタ各部の点検	15	1. トラクタ油圧系統の点検	15
2. 連結部の点検	15	3 給油箇所一覧表	15
(1) 3点リンクと 3点フレームの連結部点検	15		
(2) パワージョイントの点検	15		

3 適応作業機一覧表

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	16	2 長期格納する時	17
-----------	----	-----------	----

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表	17
-----------	----

6 不調時の対応

1 不調処置一覧表	18
-----------	----

部品表	49
-----	----

II ハーベスター本体

1 トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	19	4 トラクタへの装着	21
2 適応トラクタの範囲	20	1. サイドマウント作業(MFH2530)	21
3 組立部品	21	2. リバース作業(MFH2520、2530)	22
1. 解梱	21	3. スイッチボックスの取付・配線	23
2. 組立部品の明細	21	5 パワージョイントの装着	23
3. 組立	21	1. 長さの確認方法	24
		2. 切断方法	24
		3. 安全カバー脱着方法	25
		4. パワージョイントの連結	25

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	25	2 エンジン始動での点検	26
1. トラクタ各部の点検	25	1. トラクタ油圧系統の点検	26
2. 連結部の点検	25	3 給油箇所一覧表	26
(1) 3点リンクと 3点フレームの連結部点検	25		
(2) パワージョイントの点検	25		

3 作業の仕方

1 本機の使用目的	27	3. プレーンロールスクリーパ	27
1. ロークロップアタッチ装着時	27	4. ナイフの研磨	28
2. ピックアップアタッチ装着時	27	5. 切断長の調整	28
2 作業要領	27	6. 機体姿勢の調整	28
3 各部の調整	27	7. クラッチ	29
1. ナイフの調整	27	4 運搬	29
2. ロールスプリングの調整	27	1. 本体の取り外し	29

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	30	2 長期格納する時	30
-----------	----	-----------	----

5 点検と整備について

1 点 檢 整 備 一 覧 表 31

6 不調時の対応

1 不 調 处 置 一 覧 表 32

部 品 表 51

III ロークロップアタッチメント

1 本体への装着

1 各部の名称とはたらき 33	3 本 体 へ の 装 着 35
2 組 立 部 品 34		
1. 解 様 34		
2. 組立部品の明細 34		
3. 組 立 34		

2 運転を始める前の点検

1 運 転 前 の 点 檢 35	3 給 油 箱 所 一 覧 表 36
2 エンジン始動での点検 35		

3 作業の仕方

1 本 機 の 使 用 目 的 36	3 各 部 の 調 整 37
2 作 業 要 領 36	1. ギザリングチェーンの張り 37
		2. ナイフ（ロータリー刃） 37
		3. シャーボルト 37

4 作業が終わったら

1 作 業 後 の 手 入 れ 38	2 長 期 格 納 す る 時 38
-----------------	----------	-----------------	----------

5 点検と整備について

1 点 檢 整 備 一 覧 表 39

6 不調時の対応

1 不調処置一覧表 40

部品表 64

IV ピックアップアタッチメント

1 本体への装着

1 各部の名称とはたらき 41	2. 組立部品の明細 42
2 組立部品 42	3. 組立 42
1. 解梱 42	3 本体への装着 42

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検 42	3 給油箇所一覧表 43
2 エンジン始動での点検 42		

3 作業の仕方

1 本機の使用目的 43	3 各部の調整 44
2 作業要領 43	1. オーガスプリングの調整 44
		2. スリップクラッチの調整 44
		3. オガテンション 44

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ 45	2 長期格納する時 45
-----------	----------	-----------	----------

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表 46
-----------	----------

6 不調時の対応

1 不調処置一覧表 47
-----------	----------

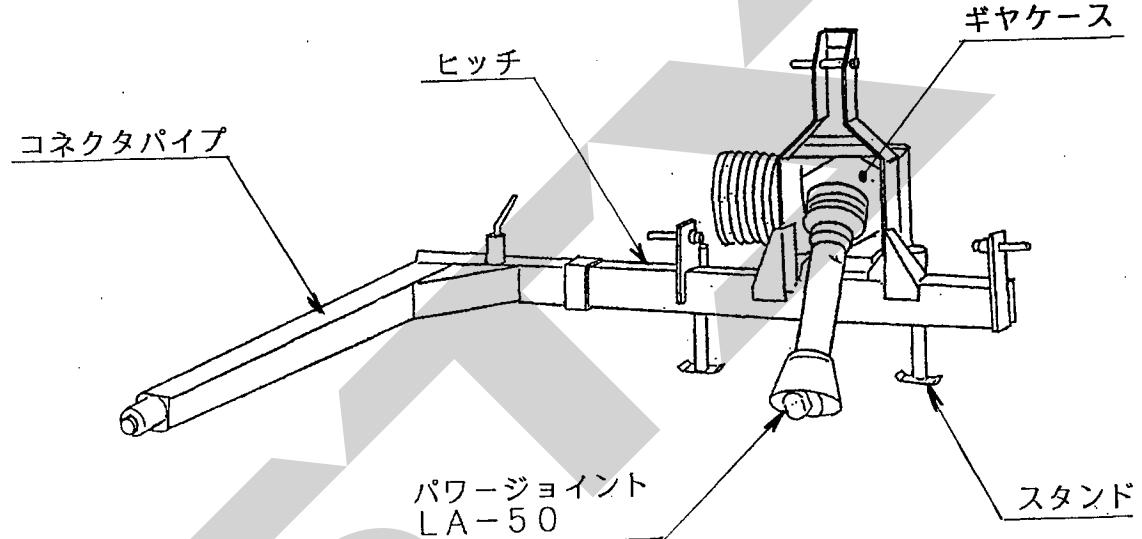
部品表 69

I ドッキングフレーム (MFH2530に標準装備)

1 トラクタへの装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



2 適応トラクタの範囲

本製品は適切なトラクタとの装着により的確に性能を発揮できるように設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

この製品の適応トラクタ馬力は選択するアタッチメントの種類によりますが、次ぎのとおりです。

トラクタ馬力
15 ~ 80 P s

実際の使用にあたっては、各アタッチメントの取扱説明書をご覧ください。

本製品の適応馬力より小さなトラクタで使用すると、負荷に対し十分なパワーがないことがあります。

逆に、適応馬力よりも大きなトラクタでのご使用時には、過負荷に対し機体の適正値を超えたパワーがでてしまい、本機の破損の原因になることがあります。

トラクタの適応馬力を越えないでください。

3 組立部品

1. 解 框

木枠に固定している部品をほどいてください。

2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

3. 組 立

各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

4 トラクタへの装着

1. 3点リンクへのドッキングフレームの連結

▲ 警 告

- トラクタの3点リンクに本機を着脱するためにトラクタを移動させる時トラクタと本機の間に人がいると、挟まれてケガをすることがあります。
トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

▲ 注 意

- 本機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こすことがあります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。

- (1) トラクタのエンジンを始動して、トラクタのロワーリング先端部とドッキングフレームの左右のロワーリングピンの位置が合うまで後進して、トラクタをとめてください。
エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
- (2) 左のロワーリングを連結し、抜けどめにトラクタに付いているリンチピンをロワーリングピンに差してください。
次に、右のロワーリングも同順で行ってください。
- (3) 左右のロワーリングが同じ高さになるよう、トラクタ右側のアジャストスクリューで調整してください。
- (4) トラクタロワーリングの幅が狭い場合は、ロワーリングピンを内向きで使用してください。
- (5) トラクタのエンジンを始動し、トラクタ3点リンクを昇降する油圧レバーを操作してドッキングフレームを少し上げ、エンジンをとめてください。
- (6) P I C軸芯がトラクタ中心におおよそ一致する位置に、チェックチェーンでセットし、本機の横振れをなくしてください。
- (7) スタンドを上げ、デルタピンで固定してください。
- (8) コネクタパイプは4段階に調整できます。
コネクタパイプとトラクタとのスキ間は10cm~15cmにしてください。
- (9) ドッキングフレームのコネクタパイプが水平もしくは先端が少し上向きに上下するよう5段階の穴で調整してください。

トップリンクピンの位置をトラクタ側が高くなるように取り付けるとほぼ水平に上下します。

5 パワージョイントの装着

▲ 危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。
損傷したらすぐに、取り替えてください。使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。
PTOを切り、トラクタのエンジンをとめてから行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

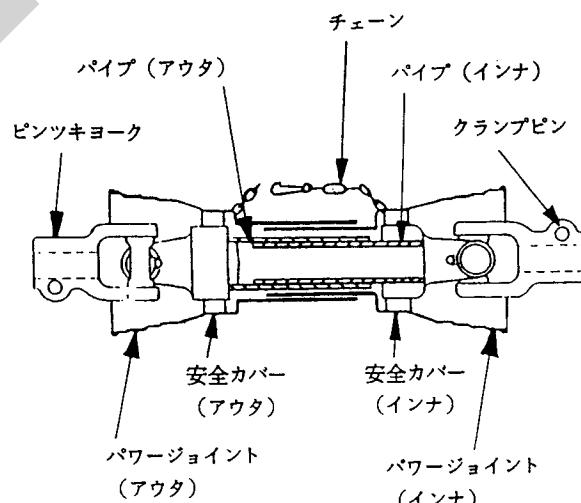
▲ 注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。
適正な重なり量で使用してください。

(5) 安全カバー同士を重ね合わせた時、安全カバー（アウタ）端部位置とマーキング位置の間隔が25mm以下の場合は、25mmの間隔を保つように切断方法の手順に従って切断してください。

(6) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とPI C軸が最も離れる位置で、昇降を停止してください。

(7) 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプ（アウタ）とパイプ（インナ）の重なり量が100mm以下の場合は、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。

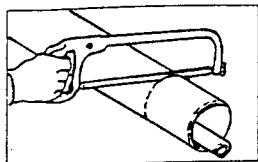


1. 長さの確認方法

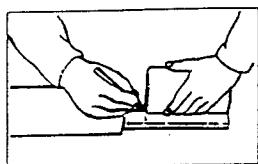
- (1) パワージョイント単体で、最縮長時の安全カバー（アウタ）端部位置を安全カバー（インナ）にマーキングしてください。
- (2) パワージョイント（アウタ）から、パワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- (3) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とPI C軸が最も接近する位置で、昇降を停止してください。
- (4) ピン付きヨークのクランプピンを押して、PTO軸、PI C軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

2. 切断方法

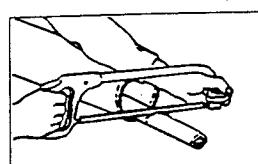
- (1) まず長い分だけ、安全カバーをアウタ・インナの両方を切り取ります。



- (2) 切り取った同じ長さをパイプの先端から計ります。



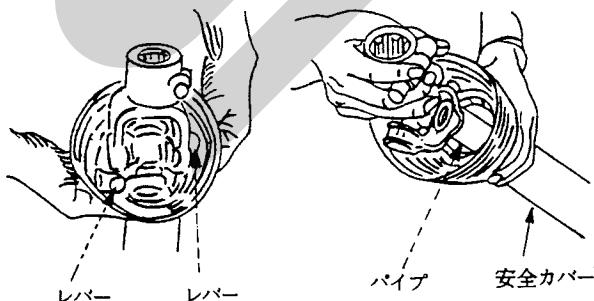
- (3) パイプを金ノコまたはカッターでアウタ・インナの両方を切断します。



- (4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げ、グリースを塗布して、アウタとインナを組み合わせます。

3. 安全カバーの脱着方法

- (1) 安全カバーのヨーク部側方に設けられている指挿入口のカバーを取り外してください。
- (2) 指挿入口から入れた指で、レバーを下に押して、ロックされるまで右に回してください。
- (3) ヨーク部を持って多少左右にゆすりながら、安全カバーを引っ張ると外れます。
- (4) 新しいカバーにパイプ部から挿入し、突き当たるまで押し込んでください。
- (5) レバーを左方向に押すと、レバーが飛び出て、カバーの組み付けが完了します。
- (6) 指挿入口のカバーを取り付けてください。



4. パワージョイントの連結

- (1) ピン付きヨークのクランプピンを押して、PTO軸、P I C軸に連結し、クランクピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

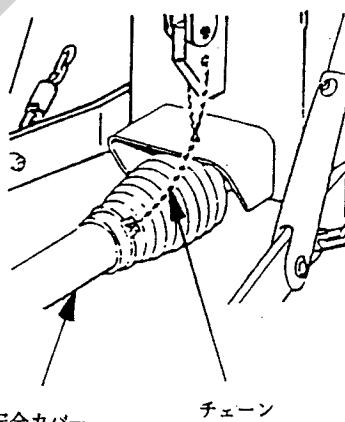
▲ 注意

- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっているないと、使用中に外れ、ケガをする事があります。溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

- (2) パワージョイントは、アウターカバー側をトラクタPTO軸側に、インナカバー側をドッキングフレームP I C軸に接続してください。

- (3) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。

チェーンは3点リンクの動きに順応できる余裕を持たせ、また他への引っかかりなどがないように余分なたるみを取ってください。



安全カバー
チェーン

2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書にもとづき点検を行ってください。

2. 連結部の点検

- (1) 3点リンクと3点フレームの連結部点検
- ① ロワーリンク・トップリンクのリンチピン・ペータピンは、確実に挿入されているか。
 - ② チェックチェーンは張られているか。

取扱上の注意

不具合が見つかった時は、「1-4-1 3点リンクへのドッキングフレームの連結」の説明に従って不具合を解消してください。

(2) パワージョイントの点検

- ① ジョイントの抜け止めのクランプピンが軸の溝に納まっているか。
- ② ジョイントカバーのチェーンの取付に余分なたるみはないか。また、適度な余裕があるか。
- ③ ジョイントカバーに損傷はないか。
損傷している時は、速やかに交換してください。

取扱上の注意

不具合が見つかった時は、「1-5 パワージョイントの装着」の説明に従って不具合を解消してください。

2 エンジン始動での点検

1. トラクタ油圧系統に異常はないか。

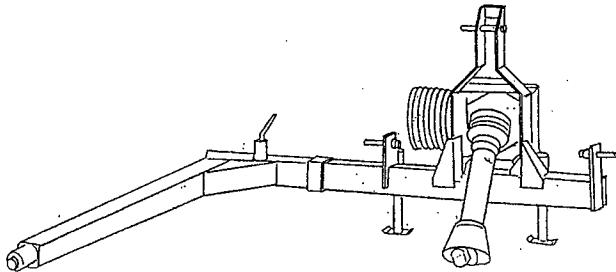
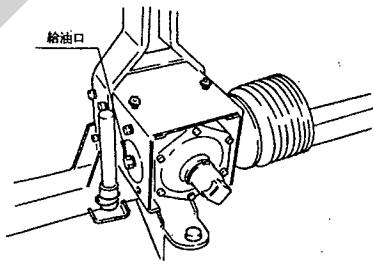
トラクタ油圧を操作し、3点リンクを上昇し、本機を持ち上げた状態で、降下がなければ異常はありません。

取扱上の注意

トラクタ油圧系統などに異常がある時は、トラクタ販売店にご相談ください。

3 給油箇所一覧表

○給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。



No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	ギヤケース	1	ギヤオイル#90	使用当初25~30時間 その後シーズン毎に 交換始業点検時確認	レベル迄	始業点検時 確認補給

3 適応作業機一覧

本機は、セパレートシステムを採用している機種群に共通するアタッチメントです。

目的に応じて次の機種群が用意されています。目的にあった作業機を選択し使用に当たっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで御使用ください。

1. 長穀作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）の条播の刈り取り

当社製品型式	トラクタ馬力
MCH2830	30～80Ps
MFH2520、30 + ARC2520	30～60Ps

2. 予乾牧草の拾い上げ細断に

当社製品型式	トラクタ馬力
MPH2830	35～80Ps
MFH2520、30 + APU2500	30～60Ps

3. 牧草の刈り取り切断、吹上に

当社製品型式	トラクタ馬力
MFH0900	15～40Ps
MFH1100	25～60Ps
MFH1400	35～80Ps

4. 牧草の刈り取りに

当社製品型式	トラクタ馬力
MDB1700	40～80Ps

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 警 告

- 動力を切らずに、回転部、可動部に付着したゴミ、草などの除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。PTOを切り、エンジンを止め、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。
3. PTO軸、PIC軸、ジョイントスライド部など塗装されていない露出部は、さびを防ぐためグリースを塗布してください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に従って、油脂を補給してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に従い、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

1 点検整備一覧表

▲ 注意

- PTOおよびエンジンとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けず作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

時 間	チ ケ ッ ク 項 目	処 置
新 品 使用 1 時 間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使 用 後 25 ~ 30 時 間	ギヤケースのオイル	オイル交換
使 用 每 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②ギヤケースのオイル ③部品脱落・破損部 ④各部のボルト・ナットの緩み ⑤各部油もれ ⑥各部の油脂類	給 油 補充、交換 増し締め シールチェック 破損時交換 給油項目に従って給油、給脂
シ ー ズ ン 終 了 後	①ギヤケースのオイル ②各部の破損、摩耗 ③各部の清掃 ④各部の給油、給脂 ⑤塗装損傷部	交 換 早めの部品交換 給油項目に従って給油、給脂 塗装または油塗布

6 不調時の対応

エンジンをとめてから点検してください。
不具合が発生したら、「不調処置一覧表」に従
い処置してください。

1 不調処置一覧表

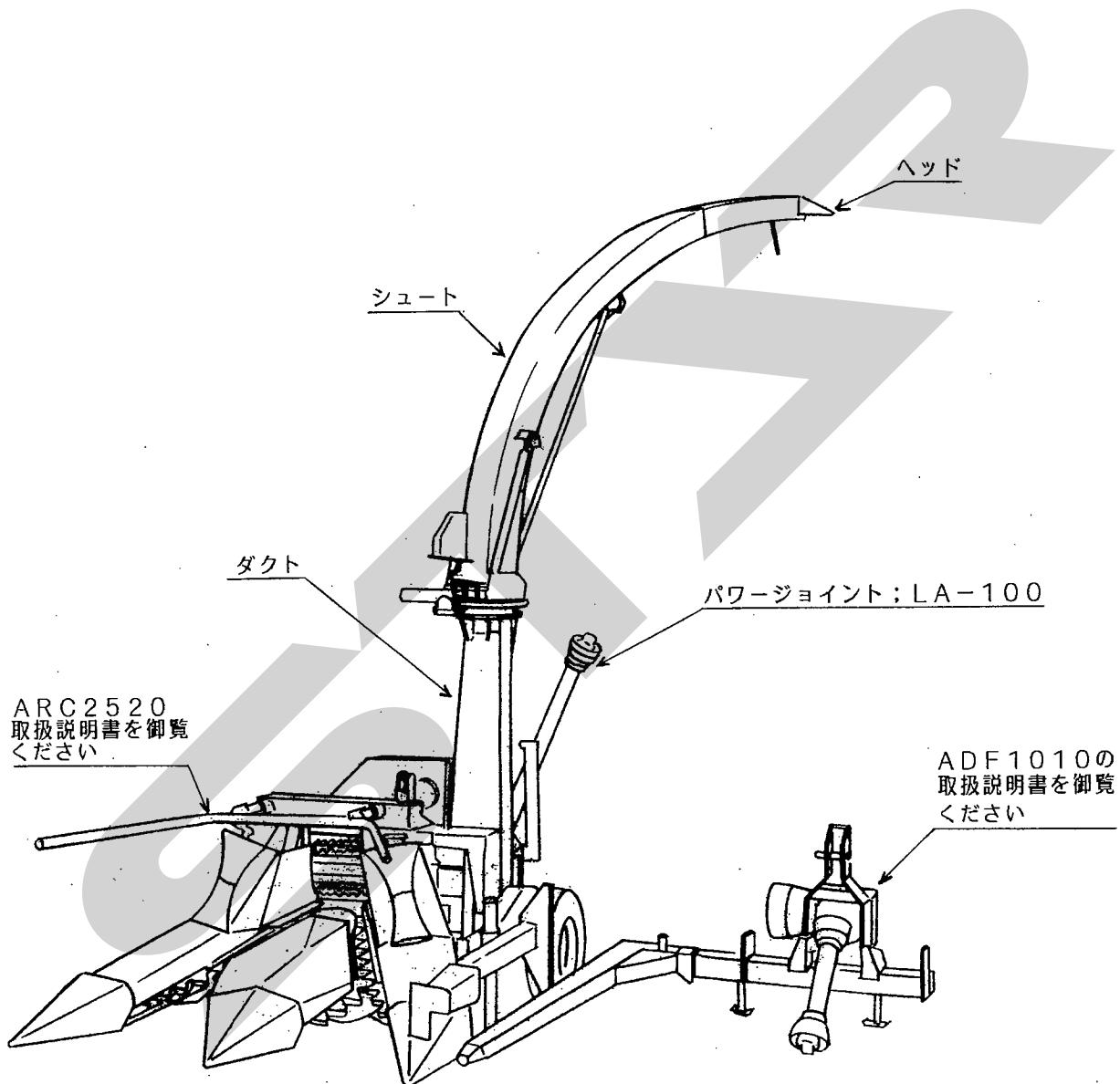
症 状	原 因	処 置
ギヤケース異常発熱	①オイル量が不足 ②ペアリング、ギヤ、シャフト損傷	適正量までオイルを注入する。 部品を交換する。
ガイドピンが出ない	①解除レバーの締めすぎ ②スプリングが切損している	締め付けボルトを緩める スプリングを交換する

II ハーベスター本体

1 トラクタへの装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称と仕事

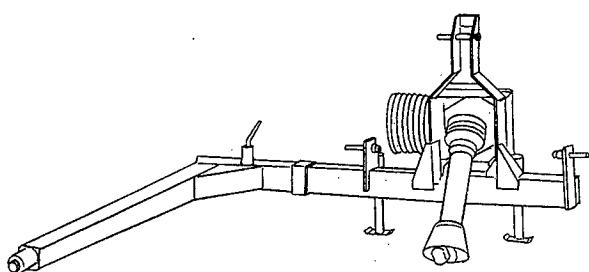


MFH2530+ARC2520+ADF1010

1. ドッキングフレーム

(MF H2530)

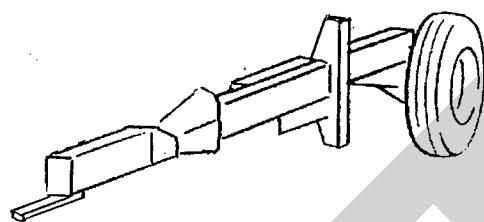
トラクタに装着してハーベスター本体との連結、動力の供給及び移動に使用します。



2. カウンタパイプ

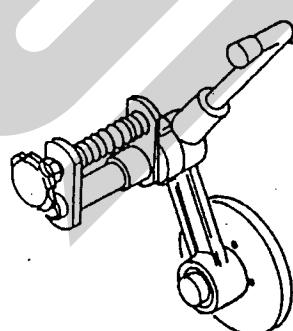
ハーベスター本体とドッキングフレームを連結するための本体側の連結装置です。

(MF H2520では使用しません)



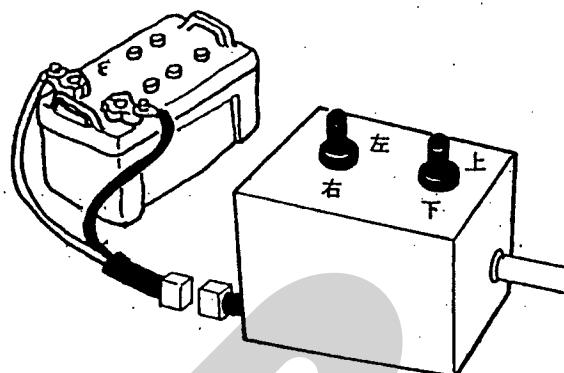
3. グラインダ

ナイフを研磨する装置です。



4. スイッチボックス

トラクタに座ったままショットの回動、ヘッドの上下作動に使用します。



5. パワージョイント ; LA-100

(MF H2530)

ドッキングフレームからハーベスター本体へ動力を伝達します。

パワージョイント ; LA-50

(MF H2520・MF H2530)

トラクタからハーベスター本体へ動力を伝達します。

2 適応トラクタの範囲

本製品は適切なトラクタとの装着により的確に性能を発揮できるように設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

この製品の適応トラクタ馬力は次のとおりです。

トラクタ馬力	
MF H2520	30 ~ 60 P s
MF H2530	

本製品の適応馬力より小さなトラクタで使用すると、負荷に対し十分なパワーがでないことがあります。

逆に、適応馬力よりも大きなトラクタでのご使用時には、過負荷に対し機体の適正値を越えたパワーがでてしまい、本機の破損の原因になることがあります。

トラクタの適応馬力を越えないでください。

3 組立部品

1. 解 框

木枠に固定している部品をほどいてください。

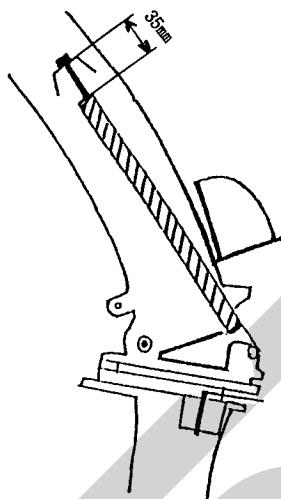
2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

3. 組 立

各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

- (1) タイヤ、カウンタパイプを取り付ける。
- (2) ダクトを本体に取り付ける。
- (3) ダクトにシートを取り付ける。
- (4) シート折りたたみのスプリングを取り付ける。長さ調整は図示寸法を参考に操作力を確かめながら行なってください。



- (5) その他の部品を部品表を参考に取り付けてください

4 トラクタへの装着

1. サイドマウント作業 (MF H2530)

- (1) 3点リンクとドッキングフレームの連結
ドッキングフレームの取扱説明書により3点リンクとドッキングフレームを先に装着してください。

▲ 警 告

- トラクタの3点リンクに本機を着脱するためには、トラクタを移動させる時、トラクタと本機の間に人がいると、挟まれてケガをすることがあります。
トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

▲ 注 意

- 本機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行なうと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こすことがあります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。

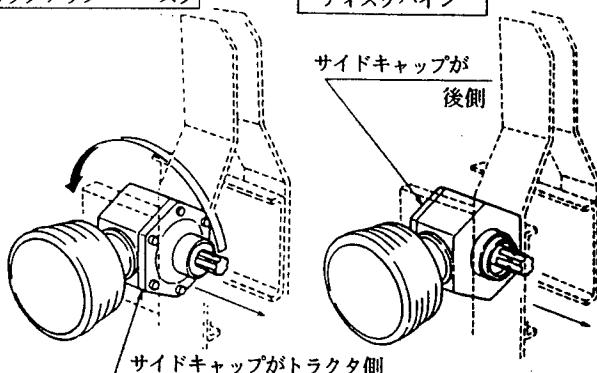
- (2) ドッキングフレームとハーベスター本体の連結

取扱上の注意

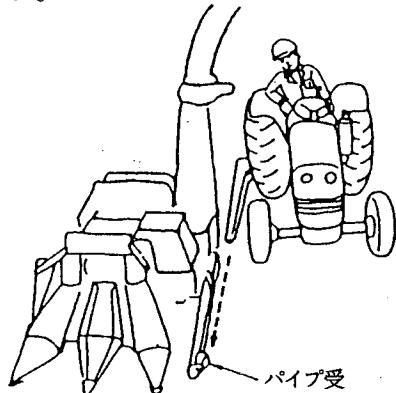
作業する前にドッキングフレームのギヤケースの向きを確認してください。

フォレージハーベスター
コーンハーベスター
ピックアップハーベスター

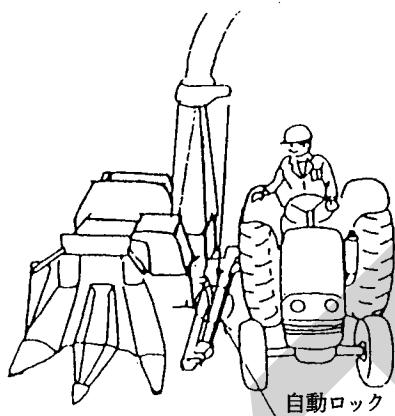
フレールハーベスター
ディスクバイン



- ① 本体後方より接近し前進しながらコネクタパイプ受にコネクタパイプ先端を差し込みます。



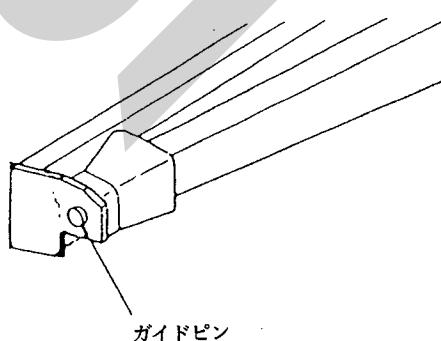
- ② コネクタパイプ先端が差し込まれたら油圧で本体を持ち上げ、さらに前進すると自動ロックにより本体とドッキングフレームが固定されます。



取扱上の注意

ガイドピンがコネクタパイプ受前部からでいることを確認してください。(約30mm)
ガイドピンは作業中、本体の脱落を防止するものです。

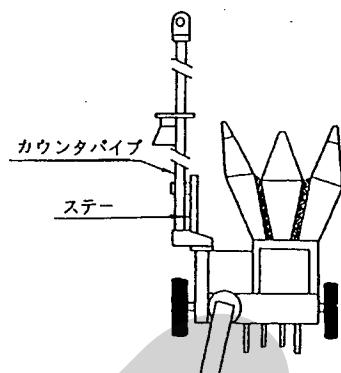
(ガイドピンが出ない時は「6-1 不調処置一覧表」で確認してください)



- ③ 本体P I C軸のパワージョイントを、ドッキングフレームのギヤケースのP T O軸と連結し安全カバーの回り止めをしてください。

2. リバース作業 (MF H2520、30)

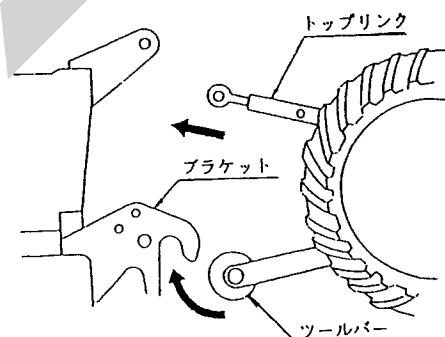
- (1) ハーベスター本体からステー及びカウンタパイプを取りはずします。



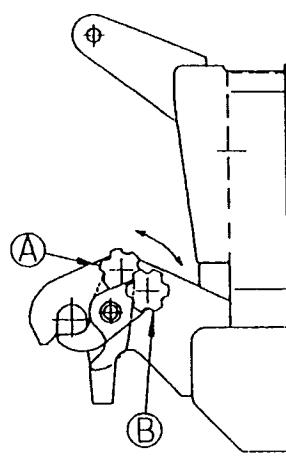
- (2) トラクタのロワーリングにツールバーを取り付けます。

左のロワーリングを連結し、抜けどめにリンクチップをロワーリングピンに差してください。次に、右のロワーリングも同順で行ってください。左右のロワーリングが同じ高さになるように、トラクタ右側のアジャストスクリューで調整してください。

左右のロワーリングが振り分けになるよう、チェックチェーンでセットし、本機の横振れをなくしてください。



- (3) ハーベスター本体のフックをAの位置にしU溝を開放します。



(4) トラクタを後退させ、トラクタの油圧操作によりツールバーを持ち上げフックのU溝をすくい上げ、ハーベスター本体が少し前傾する程度で停止します。

(5) フックをBの位置にして、ツールバーを固定します。

ロワーリングを下げ、トップリングを取り付け、ハーベスター本体が水平になるように調整します。

3. スイッチボックスの取付・配線

(シュート・ヘッドのリモコン操作)

(1) コード；1(電源コード)をバッテリータミナルへの取付ます。

コード；1(電源コード)のターミナルはトラクタのバッテリーコードのターミナルを止めているボルトと共に締めにしますのでバッテリーから(-)、(+)共にコードを外してください。

(コードを外すときは(-)側から外してください。)

トラクタのバッテリーコードのナットを外しコード；1(電源コード)のターミナルを取り付けナットを締め付けます(バッテリーターミナルへ取り付けるときは(+)側から取り付けてください)

コードの極性は、白色が(+)、黒色が(-)です。

▲ 注意

●バッテリからバッテリケーブルを外すときは(-)側から外し、取り付けるときは(+)側から行なってください。

もし、逆にすると作業中工具がトラクタに接触し火花が生じ、火災事故の原因になります。

取扱上の注意

コード；1(電源コード)をバッテリータミナルへ取り付ける時の誤作動を防ぐためスイッチボックスに取り付けずコード単体で行なってください。

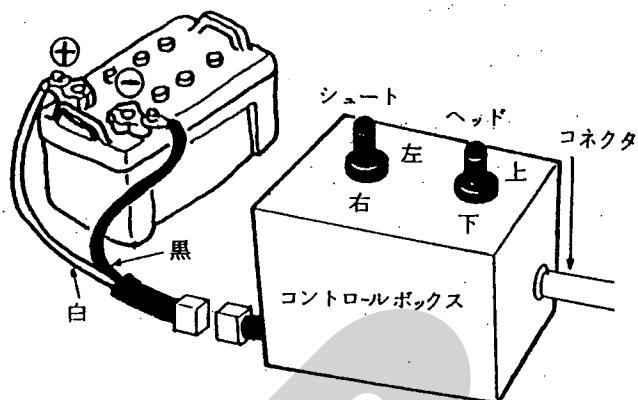
(2) スイッチボックスをトラクタの操作し易い場所にとりつけてください。

スイッチボックスの取付は、磁石で行うので、できるだけ平らな面にとりつけてください。

(3) コード；1のソケットとスイッチボックスのソケットを接続してください。

(4) 本体側のヘッド・シュート用コードのソケットとスイッチボックスのソケットを接続してください。

(5) 取り付け終了後は、各スイッチが表示通りの作動をするか確認してください。



取扱上の注意

アタッチメントの取り付けは、それぞれの取扱説明書をお読みください。

5 パワージョイントの装着

本機には、専用のパワージョイントが付いていますので、他のパワージョイントで代用しないでください。

▲ 危険

●カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。

●カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。損傷したらすぐに、取り替えてください。使用前には、損傷がないか点検してください。

●トラクタおよび作業機に着脱する時第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。PTOを切り、トラクタのエンジンをとめてから行ってください。

●カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。

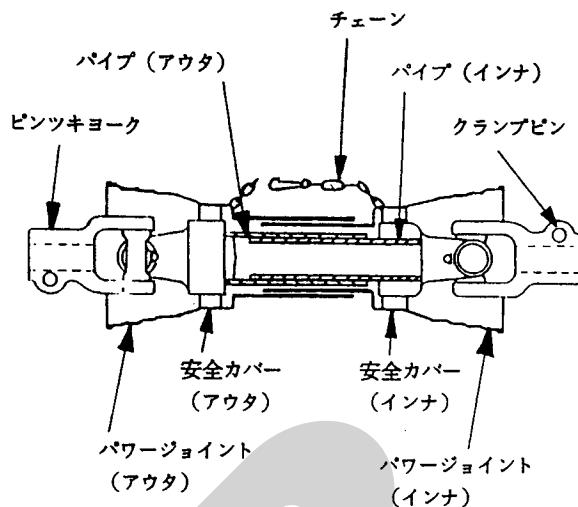
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲ 注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをすることがあります。
- 最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをすることがあります。
- 適正な重なり量で使用してください。

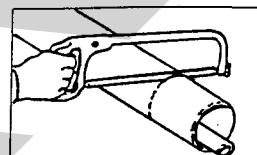
1. 長さの確認方法

- (1) パワージョイント単体で、最縮長時の安全カバー（アウタ）端部位置を安全カバー（インナ）にマーキングしてください。
- (2) パワージョイント（アウタ）から、パワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- (3) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とP.I.C.軸が最も接近する位置で、昇降を停止してください。
- (4) ピン付きヨークのクランプピンを押して、PTO軸、P.I.C.軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。
- (5) 安全カバー同士を重ね合わせた時、安全カバー（アウタ）端部位置とマーキング位置の間隔が25mm以下の場合は、25mmの間隔を保つように切断方法の手順に従って切断してください。
- (6) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とP.I.C.軸が最も離れる位置で、昇降を停止してください。
- (7) 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプ（アウタ）とパイプ（インナ）の重なり量が100mm以下の場合は、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。

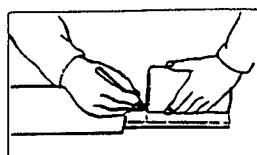


2. 切断方法

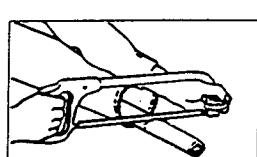
- (1) まず長い分だけ、安全カバーをアウタ・インナの両方を切り取ります。



- (2) 切り取った同じ長さをパイプの先端から計ります。



- (3) パイプを金ノコまたはカッターでアウタ・インナの両方を切断します。

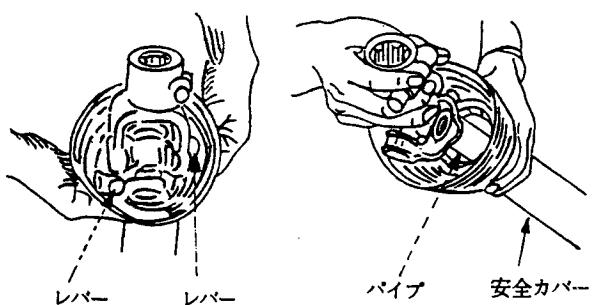


- (4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げ、グリースを塗布して、アウタとインナを組み合せます。



3. 安全カバーの脱着方法

- (1) 安全カバーのヨーク部側方に設けられている指挿入口のカバーを取りはずしてください。
- (2) 指挿入口から入れた指で、レバーを下に押して、ロックされるまで右に回してください。
- (3) ヨーク部を持って多少左右にゆすりながら、安全カバーを引っ張るとはずれます。
- (4) 新しいカバーにパイプ部から挿入し、突き当たるまで押し込んでください。
- (5) レバーを左方向に押すと、レバーが飛び出て、カバーの組み付けが完了します。
- (6) 指挿入口のカバーを取り付けてください。



4. パワージョイントの連結

サイドマウント作業時には、トラクタからの動力伝達にLA-50とドッキングフレームからの動力伝達のためにLA-100の2本のパワージョイントを使用します。

又、リバース作業時には、トラクタからの動力伝達のためにLA-50のパワージョイントを使用します。それぞれ指定品を御使用ください。

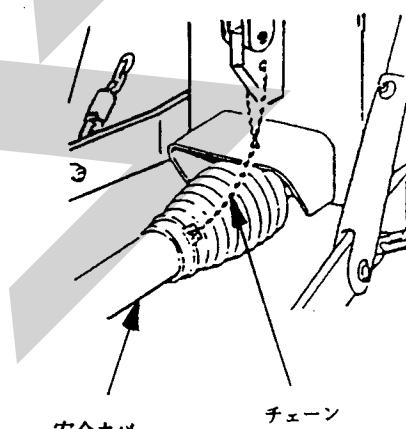
- (1) ピン付きヨークのクランプピンを押して、それぞれの軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

▲ 注意

- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをする事があります。
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

- (2) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。

チェーンは3点リンクの動きに順応できる余裕を持たせ、また他への引っかかりなどがないように余分なたるみを取ってください。



2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書にもとづき点検を行ってください。

2. 連結部の点検

- (1) 3点リンクと3点フレームの連結部点検
① ロワーリンク・トップリンクのリンチピン・ベータピンは、確実に挿入されているか。

- ② チェックチェーンは張られているか。

取扱上の注意

不具合が見つかった時は、「1-4-1 3点リンクへの連結」の説明に従って不具合を解消してください。

2. パワージョイントの点検

- ① ジョイントの抜け止めのクランプピンが軸の溝に納まっているか。
- ② ジョイントカバーのチェーンの取付に余分なたるみはないか。また、適度な余裕があるか。

- ③ ジョイントカバーに損傷はないか。
損傷している時は、速やかに交換してください。

取扱上の注意

不具合が見つかった時は、「1-5 パワージョイントの装着」の説明に従って不具合を解消してください。

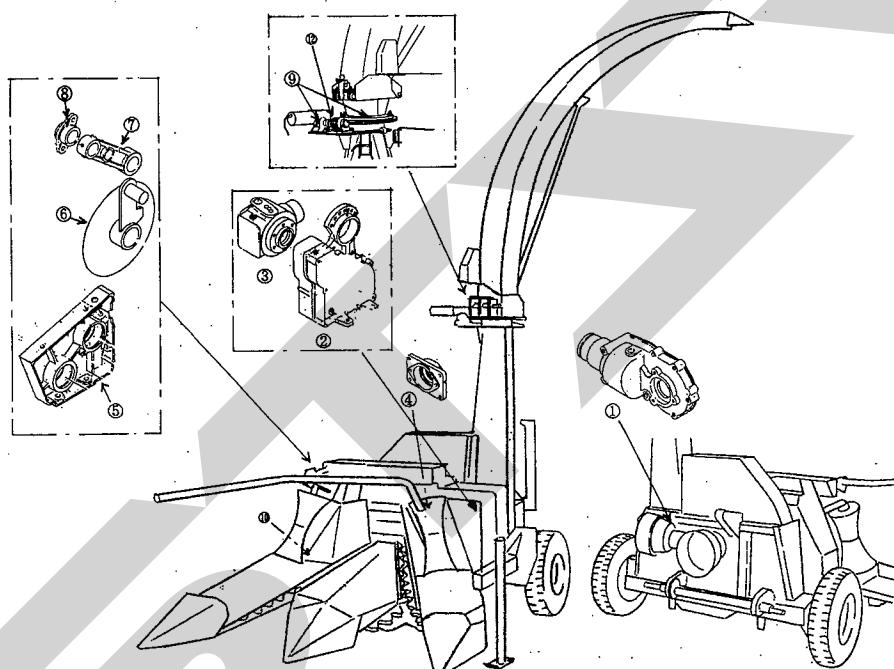
2 エンジン始動での点検

1. トラクタ油圧系統に異常はないか。

トラクタ油圧を操作し、3点リンクを上昇し、本機を持ち上げた状態で、降下がなければ異常はありません。

3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清潔なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。



No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	ギヤケース；RE	1	ギヤオイル#90	使用当初25~30時間 その後シーズン毎に交換 始業点検時確認	レベル迄	始業点検時 確認補給
2	ギヤケース；CE、L	1	"			
3	ギヤケース；R	1	"			
4	フライホイールハウジング	1	グリース	使用毎	適量	給脂
5	ロールフレーム；R・L	4	"	"	"	"
6	ガイドアーム；R・L	2	"	"	"	"
7	リフトアーム	4	"	"	"	"
8	メタル	2	"	"	"	"
9	シート；フランジ、メタル	6	"	"	"	"
10	カウンタ（フレーム）	1	"	"	"	"
11	ジョイントスライド部	2	"	"	"	"
12	ウォーム、ウォームホイール	1	"	"	"	グリース塗布
13	ローラチェーン	4	オイル	"	"	オイル塗布
14	ジョイント；スペイダ	6	グリース	"	適量	給脂

3 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

1 本機の使用目的

1. ロークロップアタッチ装着時

本アタッチメントは長稈作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）の条播の刈り取り用です。

それ以外の用途には使用しないでください。

2. ピックアップアタッチ装着時

本アタッチメントは牧草の飼料調整用です。牧草以外の飼料調整には、使わないでください。

2 作業要領

本機は、リバース作業とサイドマウント作業が出来ます。

作業の手順はA R C 2520、A P U2500それぞれの取扱説明書を御覧ください。

3 各部の調整（快適な作業のために）

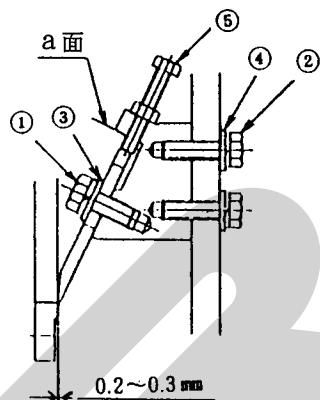
1. ナイフの調整

▲ 注意

- ナイフを調整する時、不意にフライホイールが回転し、取り付けられたナイフでケガをすることがあります。
フライホイールの回り止めを確実に行い、作業してください。

- (1) ナイフとシャバーのスキマは、0.2~0.3mmです。ナイフの押しボルトでスキマを確認しながら調整してください。
- (2) ナイフ取り付けボルト①及びナイフホールド取り付けボルト②の締付けトルクは16kg·mです。

- (3) ナイフ調整後、ボルト⑤はa面まで戻して固定してください。

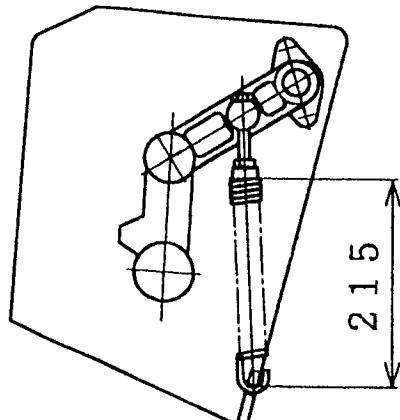


取扱上の注意

ナイフ取付ボルト及びワッシャは特殊品を使用しています。S T A R 純正品以外は使用しないでください。

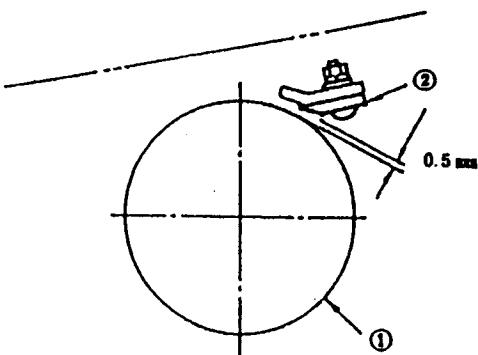
2. ロールスプリングの調整

ロールスプリングの張りは215mmになるように調整します。



3. プレーンロールスクレーパ

プレーンロール①とスクレーパ②のスキマは、0.5mm位に調整します。



4. ナイフの研磨

ナイフが摩耗したままで使用すると切断長不均一、馬力アップなど性能低下の原因となります。以下の手順で研磨してください。

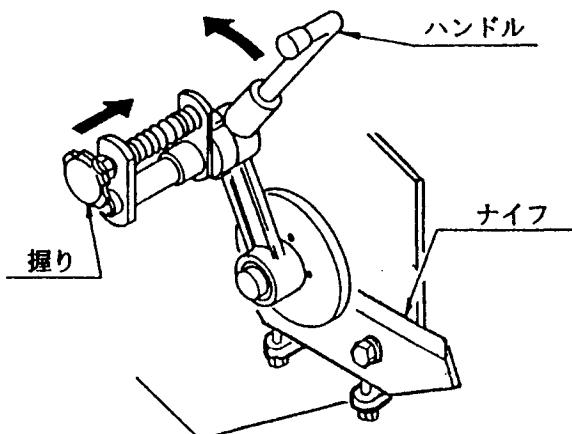
▲ 警 告

- ナイフを研磨する時、ナイフに接触するとケガをすることがあります。ナイフの研磨手順に従って行ってください。

▲ 注 意

- ナイフを研磨する時、目に飛散物が入りケガをすることがあります。保護メガネを着用してください。

- (1) チェーンカバーとグラインダカバーをはずします。
- (2) グラインダハンドルをフックからはずします。
- (3) トラクタのPTOを最低速で入れ、ギヤボックスのクラッチハンドルを「止」の位置にしてロールの回転を止めてください。
- (4) 握りを回してグラインダをナイフにゆっくりと近づけます。グラインダとナイフが接触するとグラインダが回り始めます。
- (5) この状態からさらに1/6回転ほど握りを回します。
- (6) ハンドルを上下させ、ナイフを研磨してください。
- (7) 「⑤、⑥」を数回繰り返します。この時、上下は重点的に、中央部は軽く研磨するようにしてください。
- (8) 研磨が終ったらトラクタのエンジンを停止させます。
本機の回転が完全に停止したことを確認してグラインダを戻し、ハンドルをロックします。
最後にチェーンカバーとグラインダカバーを取り付けてください。



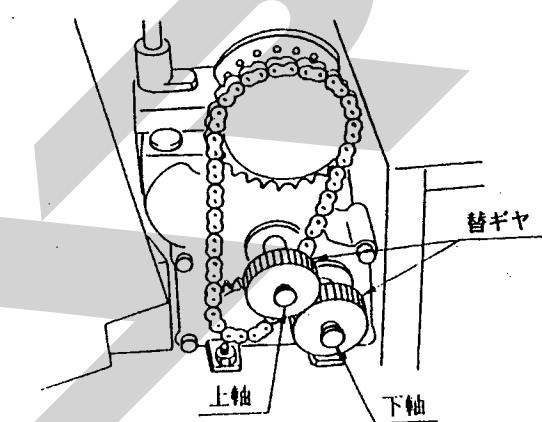
5. 切断長の調整

切断長はギヤボックスの替えギヤとナイフの枚数により調整します。

(1) 替えギヤでの調整はギヤの組替えで行います。

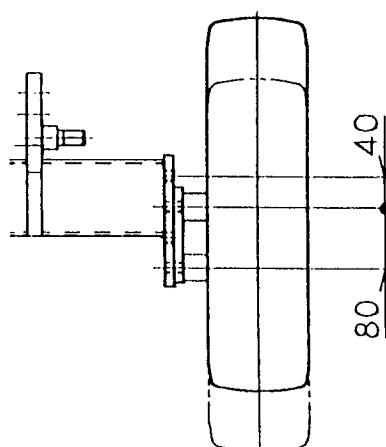
(2) ナイフでの調整は6枚刃（標準）か、3枚刃かで行ないます。

替えギヤ組付	ナイフ	切 断 長
上軸 16T	6枚刃	12mm
下軸 20T	3枚刃	24mm
上軸 20T	6枚刃	20mm
下軸 16T	3枚刃	40mm



6. 機体姿勢の調整

本機のタイヤ取り付け位置は出荷時の標準から機体を高くする方向に2段（各40mm）、低くする方向に1段（40mm）の調整ができます。



＜タイヤの空気圧＞

タイヤサイズ	空 気 圧
5.00-9-8 P R	685KPa (7.0kgf/cm ²)
6.00-9-10 P R	"

7. クラッチ

取扱上の注意

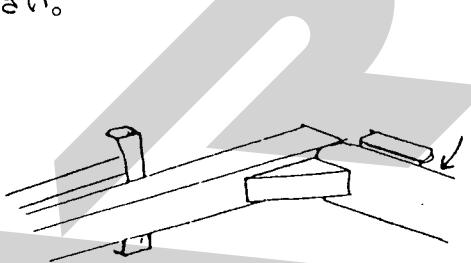
クラッチ操作はトラクタのPTO速度を低速（250～300rpm）で行ってください。高速（400～540rpm）で使用するとシャーボルト及びクラッチノッチが切損する事があります。回転速度をおとしてから操作してください。

正転～通常作業

逆転～ロール及びアタッチの駆動が逆転します。
停止～ロール及びアタッチの駆動が停止します。

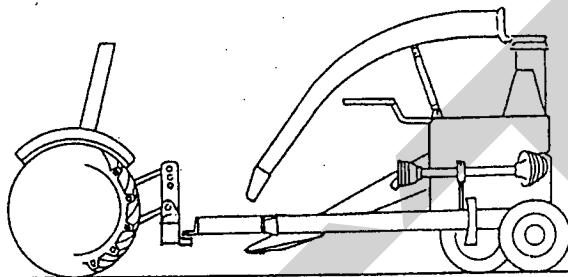
1. 本体の取り外し

- (1) ハーベスター本体カッタ部のパワージョイントをギヤケースからはずしジョイント受に置きます。
スイッチボックスからソケットをはずしてください。
- (2) トラクタの3点リンクの油圧レバーを下げて油圧をフリーの状態にします。
- (3) コネクタパイプ後部のレバーを矢印の方向にたおすとガイドピンが抜けコネクタパイプが下へはれます。
- (4) コネクタパイプがカウンタパイプに接触していないか確認しながら静かに前進してください。



4 運搬

本機は機体幅が広い作業機です。移動する時は、トラクタ後部にけん引するか<リバース作業>状態で移動します。



▲ 注意

本機はトレッドが狭いため旋回時、凹凸地・傾斜地の走行時転倒してケガをすることがあります。
低速走行してください。

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部に付着したゴミ、草などの除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。PTOを切り、エンジンを止め、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。
3. PTO軸、PIC軸、ジョイントスライド部など塗装されていない露出部は、さびを防ぐためグリースを塗布してください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 純正箇所一覧表に従って、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、PTO軸、PIC軸、パワージョイントのスライド部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に従い、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

1 点検整備一覧表

▲ 注意

- PTOおよびエンジンとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

時 間	チ ケ ッ ク 項 目	処 置
新 品 使 用 1 時 間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使 用 後 25～30 時 間	ギヤケースのオイル	オイル交換
使 用 每 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②ギヤケースのオイル ③部品脱落・破損部 ④各部のボルト・ナットの緩み ⑤各部油もれ ⑥各部の油脂類 ⑦ナイフとシャバーのスキマ ⑧プレーンロールとスクレーパのスキマ ⑩ナイフのスキマ ⑭ナイフ研磨 ⑯タイヤ空気圧	給油 補充、交換 増し締め シールチェック 破損時交換 給油項目に従って給油、給脂 異常があれば 調整項目に従ってチェック
シ ー ズ ン 終 了 後	①ギヤケースのオイル ②各部の破損、摩耗 ③各部の清掃 ④各部の給油、給脂 ⑤チェーン、回動支点等の摩耗 ⑥塗装損傷部	交 換 早めの部品交換 給油項目に従って給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

6 不調時の対応

エンジンをとめてから点検してください。

不具合が発生したら、「不調処置一覧表」に従い処置してください。

1 不調処置一覧表

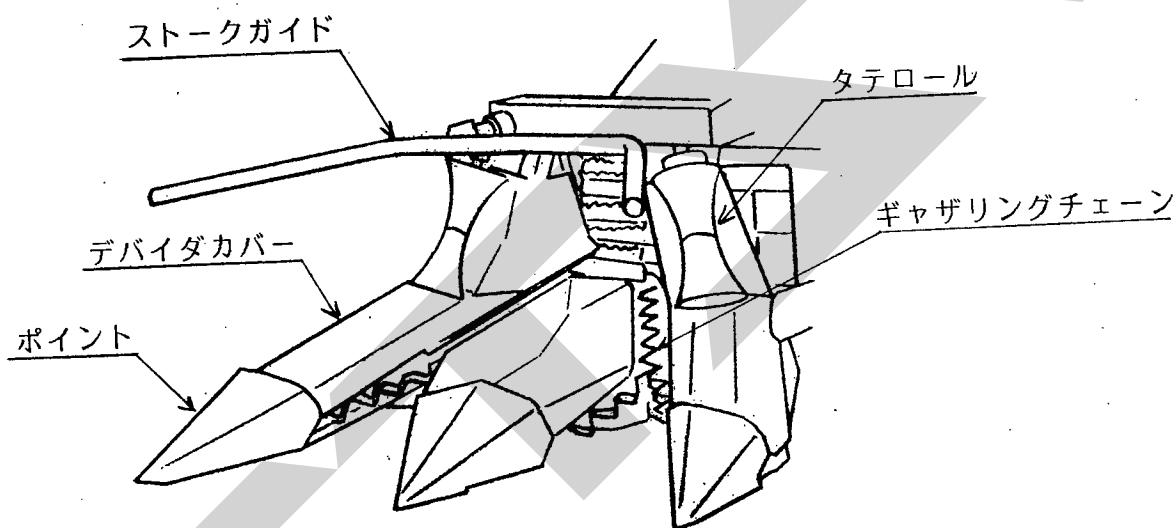
症 状	原 因	処 置
シュー ト・ヘッ ドが動 か な い	①バッテリとコントロールBOXの接続不良 ②ヒューズが切断 ③コントロールBOXスイッチ故障	配線をやり直す白線(+) 黒線(-) ヒューズを交換する。(15A) スイッチを交換する。
ギヤケース異常発熱	①オイル量が不足 ②ベアリング、ギヤ、シャフト損傷	適正量までオイルを注入する。 部品を交換する。
切 断 物 の 飛 び が 悪 い	①供給物の水分が多い ②回転速度不足	供給物の水分調整をする 適正回転速度にする。
フ イ ー ド ロ ー ル 食 い 込 み が 悪 い	①供給量が多い ②ロールスプリングの張り不足	車速を落とす スプリング長さ215mmにする。
切 断 長 さ が 不 均 一 と な る	①ナイフが摩耗 ②ナイフとシャバーの隙間が大きい	ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。 ナイフとシャーバーの隙間を再調整する
馬 力 を 噛 う	①ナイフが摩耗	ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。

III ロークロップアタッチメント

1 本体への装着

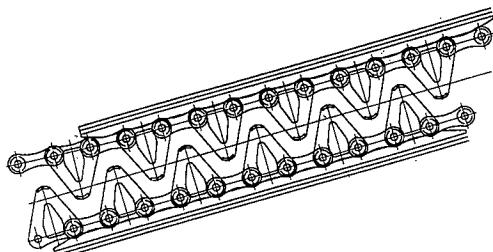
適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



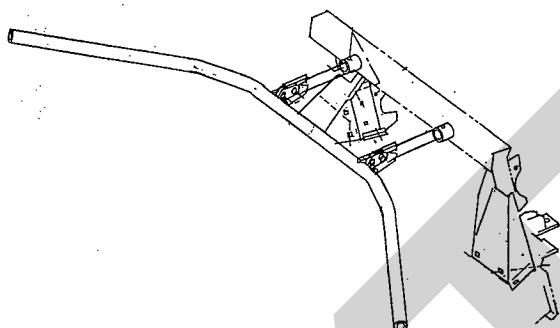
1. ギャザリングチェーン

長穀作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）を挟んで本体のフィードロールへ搬送します。



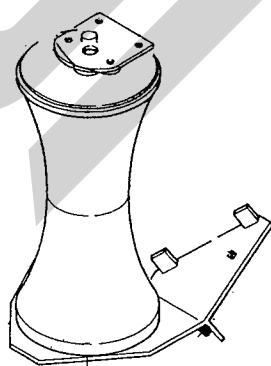
2. ストークガイド

長穀作物の茎の部分を前方へ押し作物の流れを良くする働きをします。



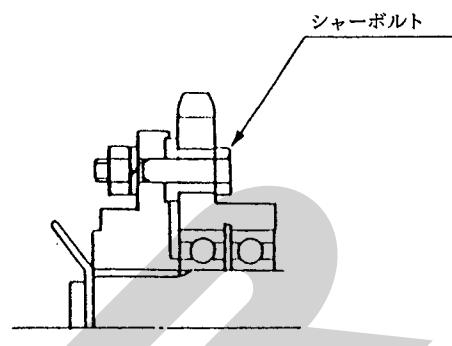
3. タテロール

倒伏した長穀作物の刈り取り時、隣の畦の作物の分離を促す働きをします。



4. シャーボルト

機械に異常な負荷が掛かったとき、このボルトが切断し供給部の伝導関係が停止し、本機の損傷を防止します。



2 組立部品

1. 解 框

木枠に固定している部品をほどいてください。

2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

3. 組 立

各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

3 本体への装着

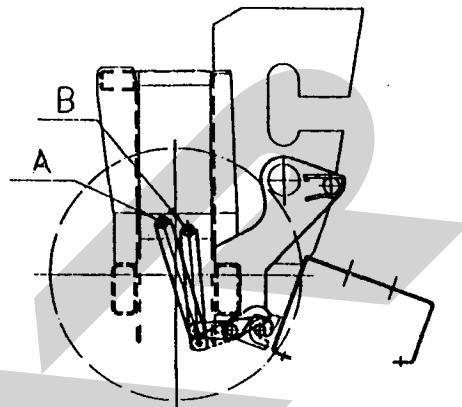
1. 本体への装着

▲ 注意

- ハーベスター本体にアタッチメントを取り付ける時衝突させると本体がバランスを崩して後方に転倒し、ケガをすることがあります。トラクタに本体を連結してからアタッチメントを取り付けてください。
- 本機をトラクタに着脱する時傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行なうとトラクタが不意に動き出し思わぬ事故を引き起こすことがあります。
平坦で地盤の硬いところで行ってください。

- (1) 本体のレバーをB位置にセットします。
- (2) ロークロップアタッチメントの取付け部を本体側の受けにはめ込みロックプレートを差し込みます。
- (3) トラクタの油圧を操作して、アタッチメントが完全に浮く程度に本体を持ち上げ、レバーをA位置にセットします。

- (4) レバー先端のフックがアタッチメントのバーにロックされていることを確認してください。
- (5) スプロケットにチェーンを掛け、テンションを張ります。
- (6) 最後にカバーを取付けてください。
- (7) 取付完了後はホイール（鉄車輪）を取り外してください。



2 運転を始める前の点検

本体の取扱説明書を良く読み、機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

異常な部品は無いか、給油は充分にされているか。

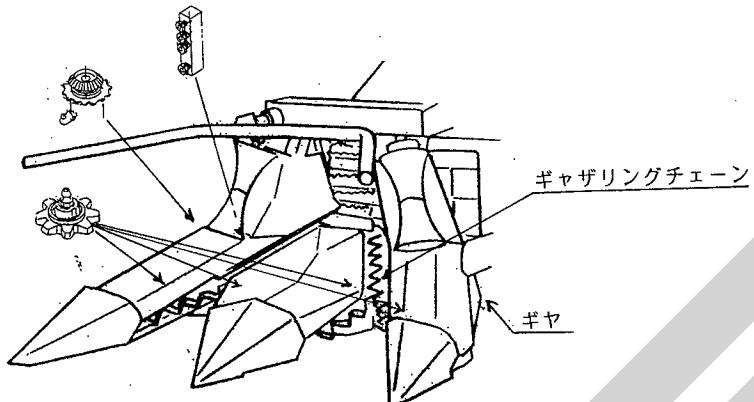
本体との連結は確実に行なわれているか。

2 エンジン始動での点検

無負荷運転での異常音は無いか。
トラクタのエンジン回転を徐々に上げながら確認してください。

3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。
- 毎日の作業前にかならず給油しましょう。



No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	ロータリ刃シャフト	4	グリース	使用毎	適量	グリースニップル
2	ギャザリングチェーンドライブシャフト	4	"	"	"	グリースニップル
3	メタル(タテロール下部)	2	"	"	"	グリースニップル
4	ギヤ	6	"	"	"	グリース塗布
5	ローラチェーン	1	オイル	"	"	オイル塗布
6	ギャザリングチェーン	4	"	"	"	オイル塗布

*ギャザリングチェーンへの給油は、使用後チェーンの暖かいうちに行ってください。

3 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

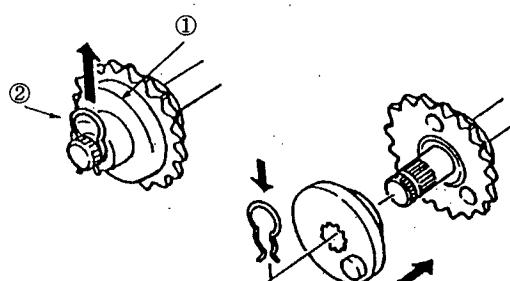
1 本機の使用目的

本アタッチメントは長穀作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）の条播の刈り取り用です。

それ以外の用途には使用しないでください。

2 作業要領

枕地や中割等で刈倒したコーン等を手で供給するときは図示のように、シャーボルトホルダを差し替えて、ギャザリングチェーンと刈り取りナイフの回転を停止してください。



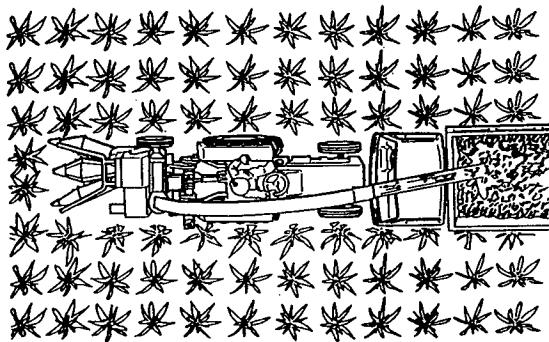
▲危険

- 運転中又は回転中、搬送チェーンおよび供給ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
手供給する時は、搬送チェーンの動力を遮断してから行なってください。

中割り、枕刈作業

図のようにダンプトラック等で伴走して作業を行います。

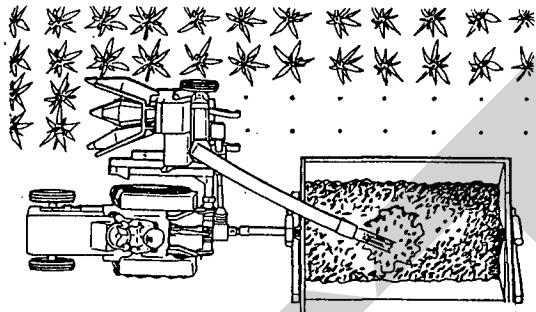
当社のポンネットダンプをご利用いただきま
すとワンマン作業が可能となります。



2. サイドマウント作業

中割り、枕刈作業が終わりましたらサイドマウント状態で作業を行ってください。

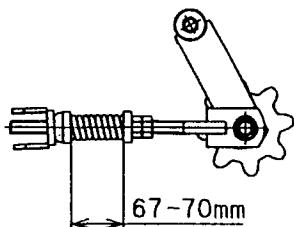
通常のアベック作業や、ワゴン等を牽引する
ワンマン作業体系でご利用いただけます。



3 各部の調整 (快適な作業のために)

1. ギャザリングチェーンの張り

ギャザリングチェーンの張りは図示の通り67
～70mmになるように調整します。

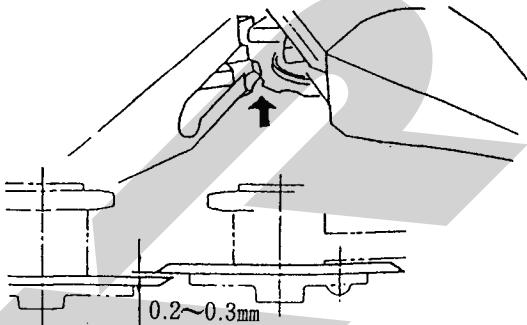


2. ナイフ (ロータリーカッター)

▲ 注意

- ナイフの隙間調整時ロークロップアタッチ
が不意に落下してケガをすることがあります。
落下を防ぐためにフレームの下に降下
防止のためブロックや枕木等を入れてください。

ナイフの隙間は0.2～0.3mmに調整します。



3. シャーボルト

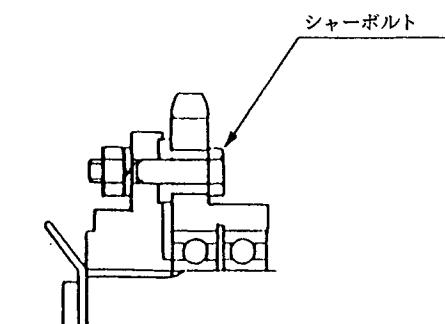
図に示すシャーボルトは過負荷時、このボルト
が切断し供給部への動力の伝達を停止し、本
機の損傷を防止します。

ボルトを交換しましたらシャーボルトホルダ
に給脂してください。

付属品としてシャーボルト (M 6 × 30) が3
本用意しております。予備のシャーボルトの格
納場所を用意してありますので御利用ください。

取扱上の注意

このシャーボルトはSTAR純正品を使用
してください。



4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部に付着したゴミ、草などの除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。P T Oを切り、エンジンを止め、回転部や可動部が止まっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に従って、油脂を補給してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に従い、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

1 点検整備一覧表

▲ 注意

- PTOおよびエンジンとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

時 間	チ ケ ッ ク 項 目	処 置
新 品 使用 1 時 間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使 用 每 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②部品脱落・破損部 ③各部のボルト・ナットの緩み ④各部の油脂類 ⑤ギャザリングチェーンの張り ⑥ナイフのスキマ ⑦ナイフ研磨	補充、交換 増し締め 給油項目に従って給油、給脂 □ 調整項目に従ってチェック
シ ー ズ ン 終 了 後	①ベベルギヤのグリース ②各部の破損、摩耗 ③各部の清掃 ④各部の給油、給脂 ⑤チェーン、回動支点等の摩耗 ⑥塗装損傷部	交換 早めの部品交換 給油項目に従って給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

6 不調時の対応

エンジンをとめてから点検してください。

不具合が発生したら、「不調処置一覧表」に従い処置してください。

1 不調処置一覧表

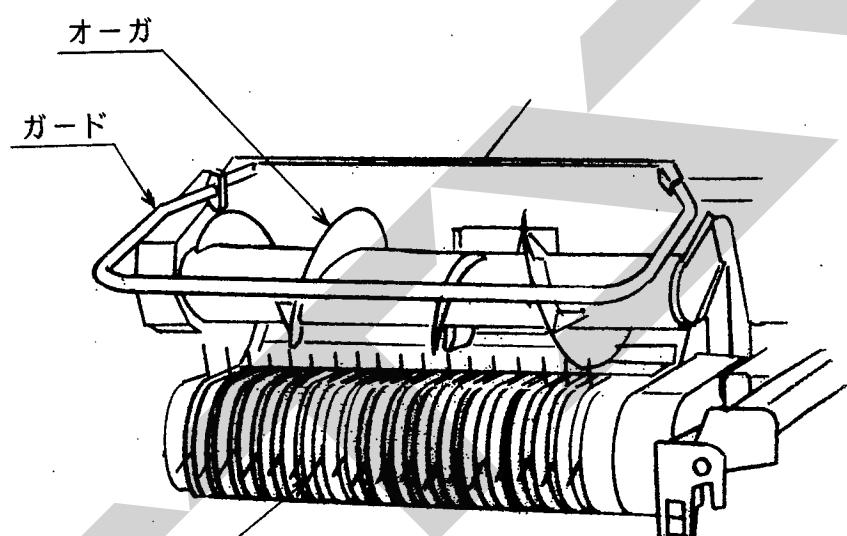
症 状	原 因	処 置
ナイフ(ロータリ刃)の異常発熱	①スクレーパの接触圧が大きい ②スクレーパへの雑草の詰まり ③ナイフ取付部ボスへの雑草の巻付	スクレーパとナイフの隙間のシム調整 雑草を取り除く 雑草を取り除く
馬力を喰う	①ナイフが摩耗。	ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。
ギザギザが飛ぶ	①チェーンの張りが弱い ②ナイフ取付部ボスへの雑草の巻付 ③ナイフが摩耗	点検と調整参照 雑草を取り除く ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。

IV ピックアップアタッチメント

1 本体への装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



2 組立部品

1. 解 梱

木枠に固定している部品をほどいてください。

2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

3. 組 立

各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

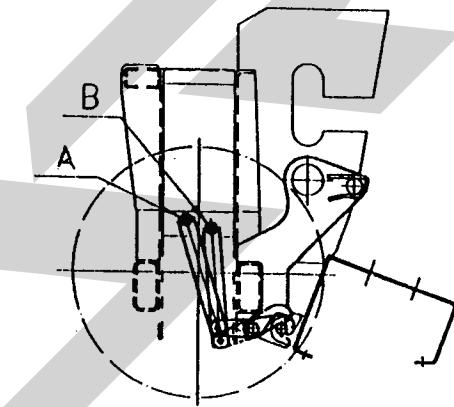
3 本体への装着

1. 本体への装着

▲ 注意

- ハーベスター本体にアタッチメントを取り付ける時、衝突させると本体がバランスを崩して後方に転倒し、ケガをすることがあります。
トラクタに本体を連結してからアタッチメントを取り付けてください。
- 本機をトラクタに着脱する時傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行なうとトラクタが不意に動き出し思わぬ事故を引き起こすことがあります。
本体を高く上げた状態にホイールを調整してください。

- (1) 本体のレバーをB位置にセットします。
- (2) ピックアップアタッチメントの取付け部を本体側の受けにはめ込みロックプレートを差し込みます。
- (3) トラクタの油圧を操作して、アタッチメントが完全に浮く程度に本体を持ち上げ、レバーをA位置にセットします。
- (4) レバー先端のフックがアタッチメントのバーにロックされていることを確認してください。
- (5) スプロケットにチェーンを掛け、テンションを張ります。
- (6) 最後にカバーを取付けてください。



2 運転を始める前の点検

本体の取扱説明書を良く読み、機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

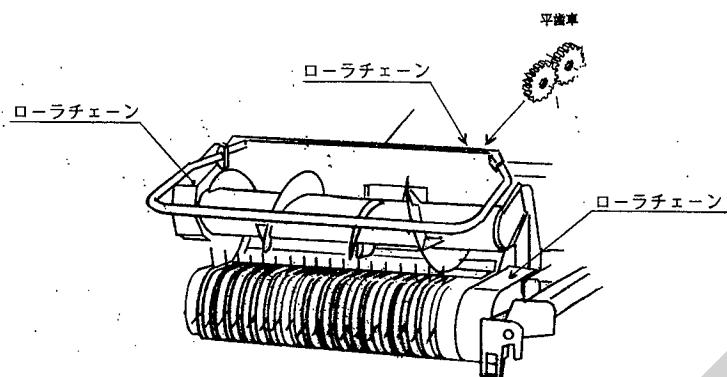
異常な部品は無いか、給油は充分にされているか。
本体との連結は確実に行なわれているか。

2 エンジン始動での点検

無負荷運転での異常音は無いか。
トラクタのエンジン回転を徐々に上げながら確認してください。

3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。
毎日の作業前にかならず給油しましょう。



No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	平歯車	1	グリース	使用毎	適量	グリース塗布
2	ローラチェーン	4	オイル	〃	〃	オイル塗布

3 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

1 本機の使用目的

本アタッチメントは牧草の飼料調整用です。それ以外の用途には使用しないでください。

▲危険

運転中又は回転中、ピックアップおよびオーガに接触すると巻き込まれケガをすることがあります。

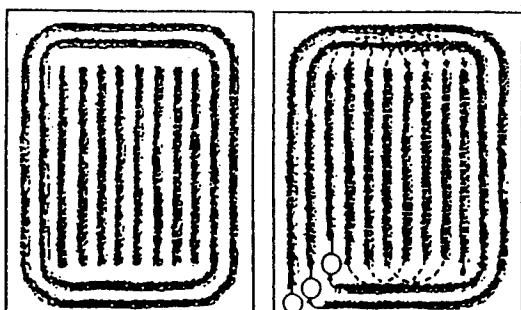
周囲に人を近づけないでください。

ピックアップおよびオーガに草が詰まった時は、P T Oおよびエンジンを切ってから取り除いてください。

2 作業要領

効率の良い作業を行なうためにウィンドロー(集草列)は、均一で少な目に作ってください。ウィンドロー幅は60~80cm程が目安です。

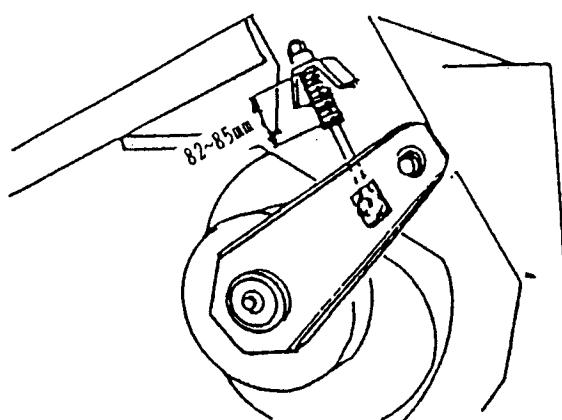
また本機がほ場内をスムーズに作業できるような作業効率のよいウィンドローの作り方を工夫しましょう。



3 各部の調整(快適な作業のために)

1. オーガスプリングの調整

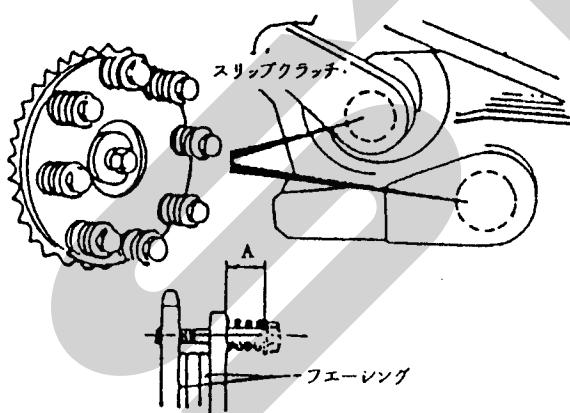
オーガをピックアップされた牧草に押しつけて、横送りを助ける働きをします。スプリングの標準長さは82~85mmです。



2. スリップクラッチの調整

オーガ部及びピックアップ部には、過負荷時の安全装置としてスリップクラッチが装備されています。

スプリングの標準長さは、A寸法でピックアップ部は27mm、オーガ部はボルトを締めて密着してから半回転戻してください。



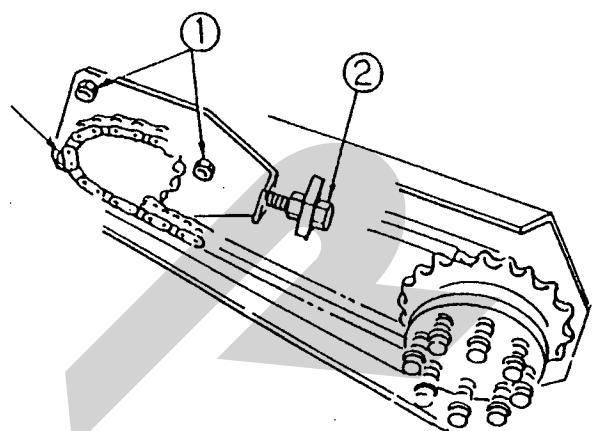
取扱上の注意

フェーチング部分には給油しないでください。スリップして作業ができなくなります。

3. オーガテンション

オーガ軸受のボルト①をゆるめ押しボルト②で調整します。

テンション量がいっぱいになった時は元の位置に戻し、チェーンのオフセットリンク（半コマ）を一個外してください。



4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部に付着したゴミ、草などの除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。PTOを切り、エンジンを止め、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に従って、油脂を補給してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に従い、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

1 点検整備一覧表

▲ 注意

- PTOおよびエンジンとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

時 間	チ ケ ッ ク 項 目	処 置
新 品 使 用 1 時 間	全ボルト、ナットの緩み増し締め	増し締め
使 用 每 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②部品脱落・破損部 ③各部のボルト・ナットの緩み ④各部の油脂類 ⑤オーガスプリング ⑥スリップクラッチ ⑦オーガテンション	補充、交換 増し締め 給油項目に従って給油、給脂 — 異常あれば再調整
シ ー ズ ン 終 了 後	①各部の破損、摩耗 ②各部の清掃 ③各部の給油、給脂 ④チェーン、回動支点等の摩耗 ⑤塗装損傷部	早めの部品交換 給油項目に従って給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

6 不調時の対応

エンジンをとめてから点検してください。

不具合が発生したら、「不調処置一覧表」に従い処置してください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
ピックアップがスリップして牧草が拾えない	①フェーシングが摩耗 ②供給量が多い ③スプリング緩んでいる	フェーシングを交換する。 車速を下げる スプリングを適正值に調整する
オーガがスリップする	①フェーシングが摩耗 ②供給量が多い ③スプリング緩んでいる	フェーシングを交換する。 車速を下げる スプリングを適正值に調整する
オーガに巻き付く	①オーガとスクレーパの隙間が多い	隙間を調整する

7 部品表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください）
- ④ 部品番号（ “ ” ）
- ⑤ 個数（ “ ” ）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「見出番号付」と表示している部品は、該当見出番号の部品が付属されております。

(例)

見出番号	部品番号	部分名称	個数
1	92602	シャフト	<u>見出番号</u> 付 2付
2	ONAS6G	グリースニップル；A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により、部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

(例) BZ0815A (G)

(メッキ仕上げ)
A ; ナット・スプリングワッシャ付
D ; ナット2個付
N ; ナット付
P ; ワッシャ付
W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の□・☑は、以下のことを表しております。

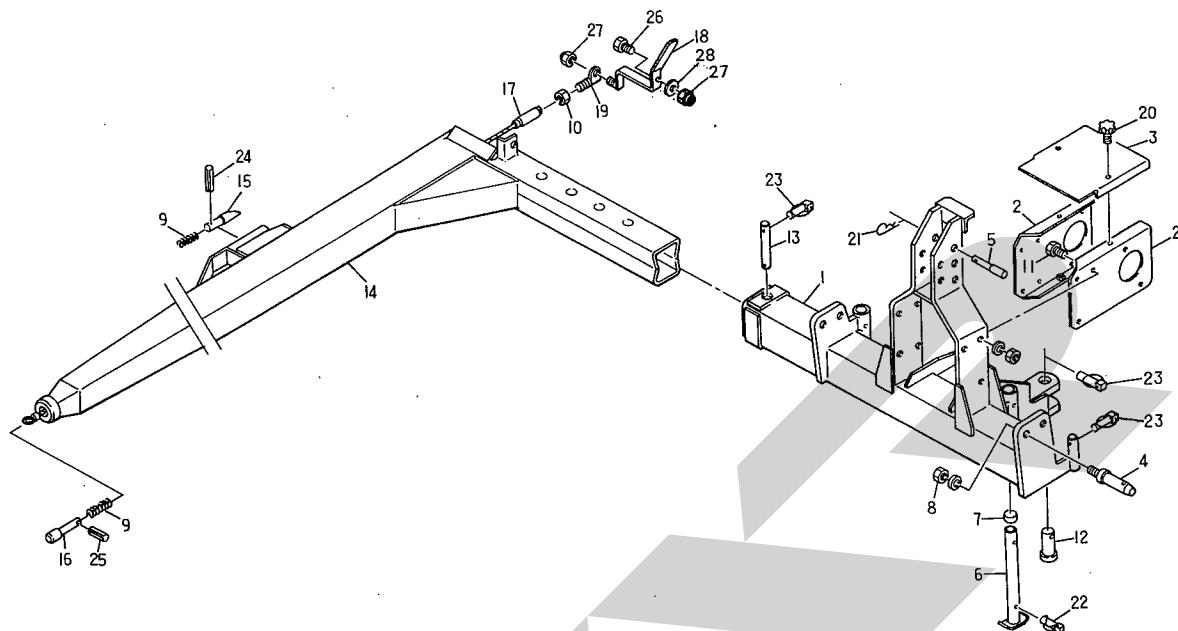
- …シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。
- ☑…アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

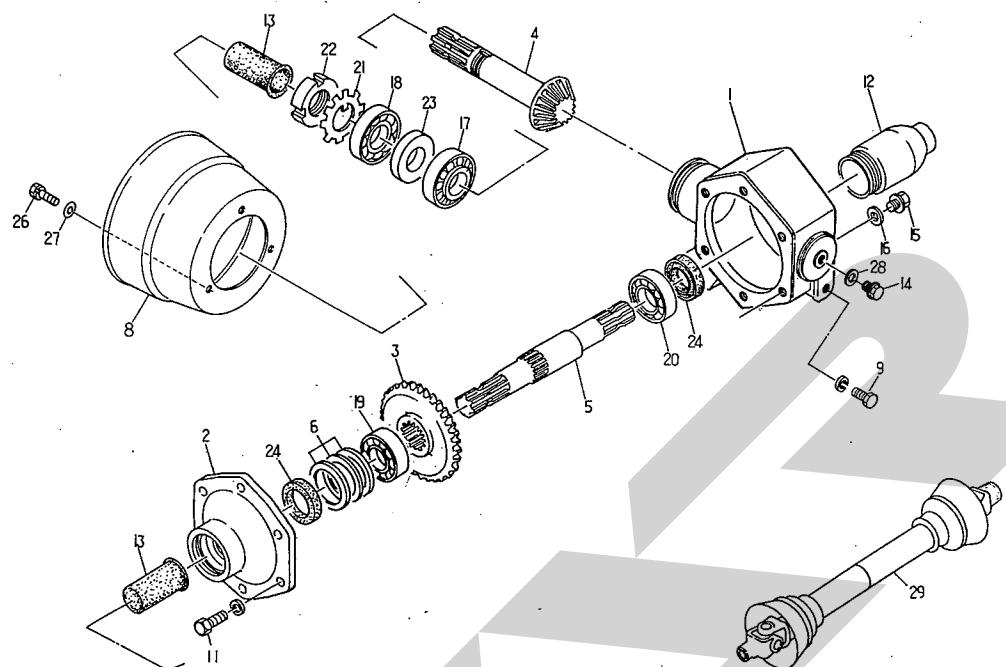
ADF1010 ドッキングフレーム ドッキングフレーム、ヒッチ



11524-1

番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
1	82327	ヒッチ	1	26	BZ1030G	ボルト ; M10×30 (8.8)	1
2	94338	チャンネル	2	27	NN10G	ナイロンナット ; M10	2
3	81081	カバー	1	28	WRA10	ワッシャ ; M10	1
4	00006	ロワーリングピン 見8付	2				
5	00098	トップリングピン 見21付	1				
6	00701	スタンド ; 250	2				
7	00458	キャップ ; 29	2				
8	NZ22150WG	ナット ; M22×1.5 (8)	2				
9	57897	スプリング	2				
10	NZ12G	ナット ; M12 (8)	1				
11	BZ1235AG	ボルト ; M12×35 (8.8)	8				
12	82173	ピン	1				
13	67922	ピン	1				
14	81082	コネクタパイプ	1				
15	57960	ロックピン 見24付	1				
16	59672	ガイドピン 見25付	1				
17	81083	ワイヤ	1				
18	81086	レバー	1				
19	67925	ホルダ 見10付	1				
20	00690	ニギリ ; M8×14	2				
21	00088	ベータピン ; 19×3	1				
22	00453	デルタピン ; 9	2				
23	00739	リンチピン ; 9	4				
24	PS6032	スプリングピン ; 6×32	1				
25	PS6018	スプリングピン ; 6×18	1				

ADF1010 ドッキングフレーム ギヤボックス、パワージョイント

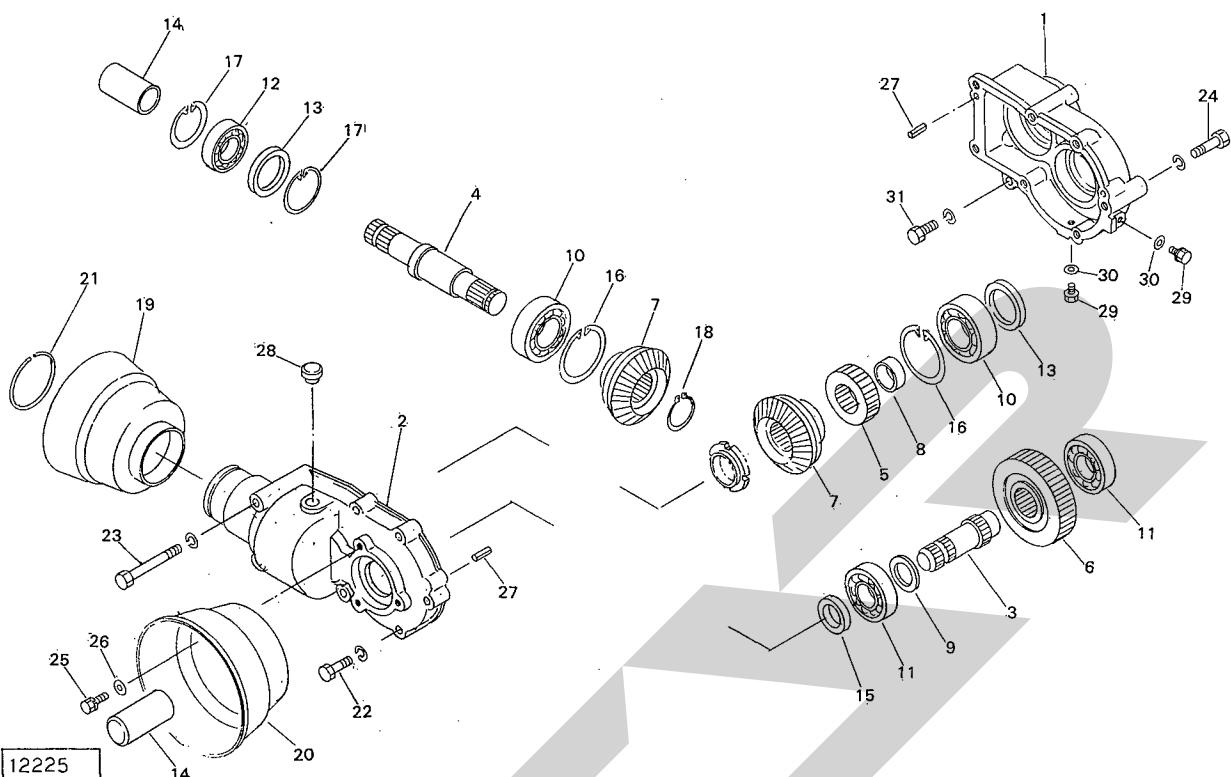


11523-3

番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数	
1	94341	ギヤケース	見14・28付 ☆	1	26	BP0816	スプリングボルト ; M8×16 ☆	3
2	81088	サイドキャップ	☆ 1	27	44097	ワッシャ ; 8	☆ 3	
3	79978	ベベルギヤ ; 35T	☆ 1	28	ORP20	Oリング ; P20	☆ 1	
4	79979	ベベルピニオン ; 16T	☆ 1	ASY	94341ASY	ギヤケース(クミ)	見1~28付 ☆	
5	81089	シャフト	☆ 1	29	6314-1	パワージョイント ; LA-50	★ 1	
6	82882	シム	☆ 一					
8	00827	P I Cカバー ; III	☆ 1					
9	BZ1225WG	ボルト ; M12×25 (8.8)	☆ 2					
11	BZ1030WG	ボルト ; M10×30 (8.8)	☆ 6					
12	34616	ガード	☆ 1					
13	96089	P I Cキャップ ; 35	☆ 2					
14	59133	チェックプラグ ; PF1/2	☆ 1					
15	00338	プラグ ; M10	☆ 1					
16	00339	パッキン (M10プラグ用)	☆ 1					
17	J30208	テーパベアリング ; 30208	☆ 1					
18	J6208LLU	ベアリング ; 6208LLU	☆ 1					
19	J6208	ベアリング ; 6208	☆ 1					
20	J6207	ベアリング ; 6207	☆ 1					
21	WAW08	ベアリングワッシャ ; AW08	☆ 1					
22	NJAN08	ベアリングナット ; AN08	☆ 1					
23	D407210	オイルシール ; D407210	☆ 1					
24	D35558	オイルシール ; D35558	☆ 2					

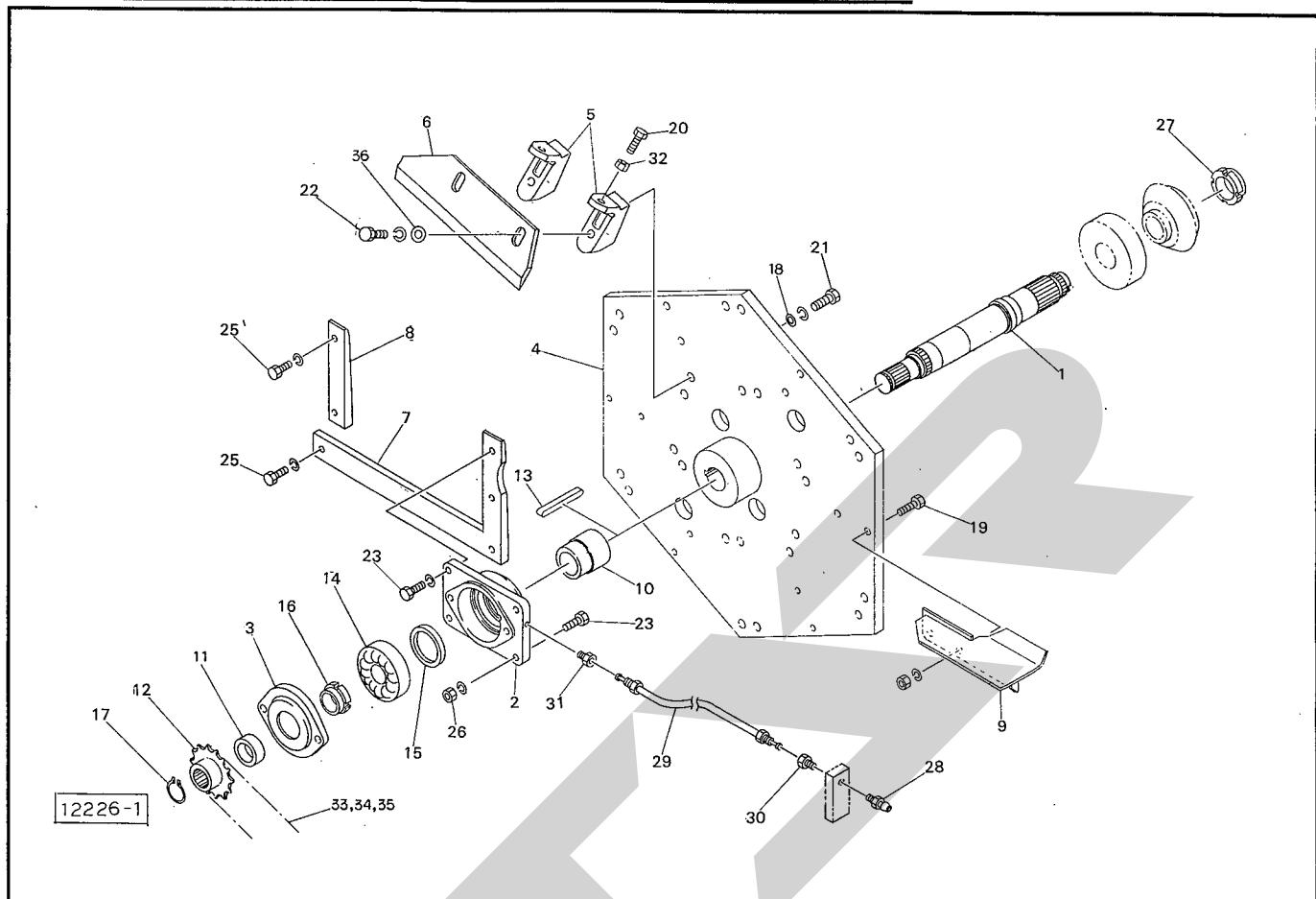
★ MFH2520、2530 ☆MFH2530

MFH2520・2530 フォレージハーベスター ギヤケース



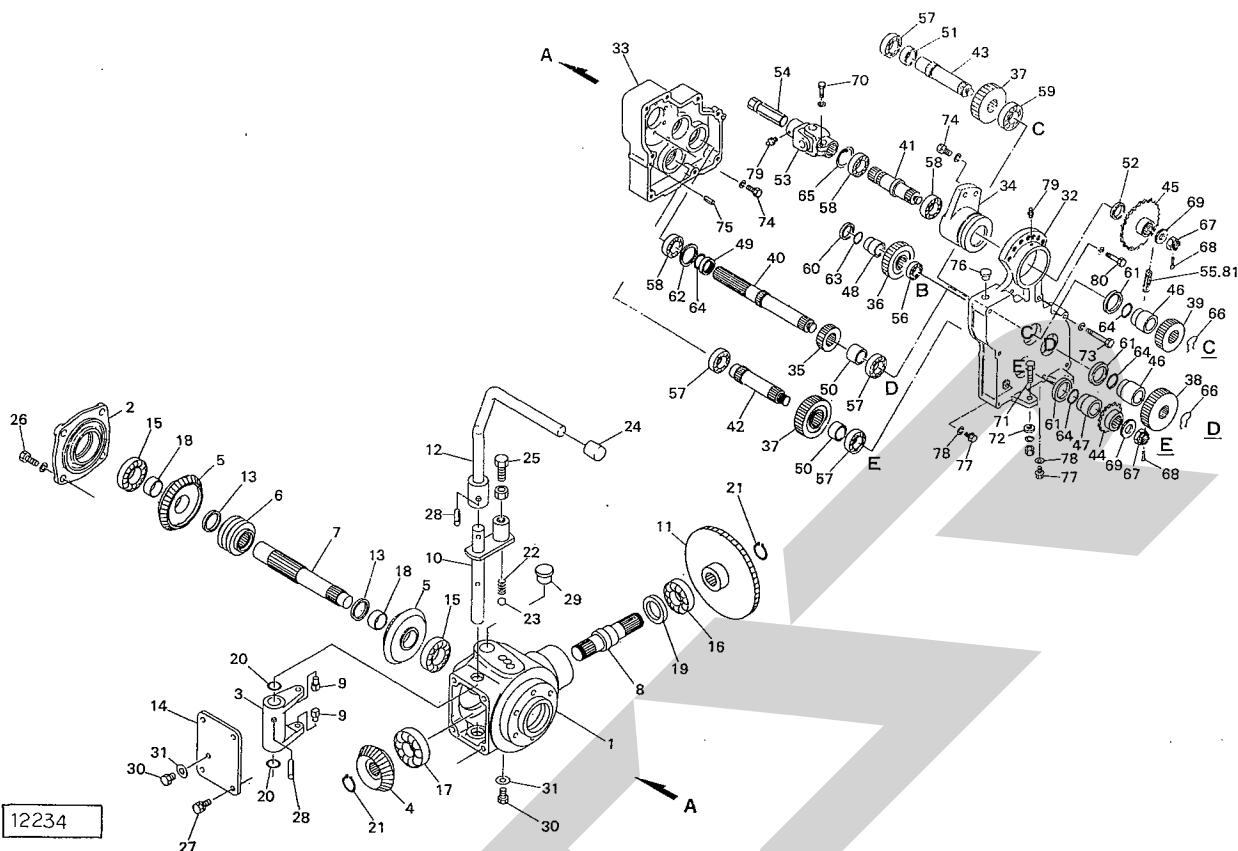
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
1	96485	ギヤケース；F	1	26	44098	ワッシャ；8	3
2	94904	ギヤケース；RE	1	27	PS8020	スプリングピン；8×20	2
3	94906	シャフト；PIC	1	28	00717	チュウユセン；23	1
4	94907	シャフト；PIC	1	29	00338	プラグ；M10	2
5	96483	ギヤ；M4.5×14T	1	30	00339	パッキン；M10	2
6	96484	ギヤ；M4.5×26T	1	31	BZ1240WG	ボルト；M12×40 (8.8)	2
7	76751	マイタギヤ；18T	2				
8	94910	カバー；35.5×9.5	1				
9	81434	ワッシャ	1				
10	J6307	ベアリング；6307	2				
11	J6207	ベアリング；6207	2				
12	J6007LLU	ベアリング；6007LLU	1				
13	D42627	オイルシール；D42627	2				
14	96089	PICキャップ；35	2				
15	D35558	オイルシール；D35558	1				
16	DHC80	スナップリング；H80	2				
17	DHC62	スナップリング；H62	2				
18	DC35	スナップリング；S35	1				
19	00824	PICカバー；II	1				
20	00827	PICカバー；III	1				
21	00825	リング；S	1				
22	BZ1040WG	ボルト；M10×40 (8.8)	5				
23	BZ10100WG	ボルト；M10×100 (8.8)	2				
24	BZ1225WG	ボルト；M12×25 (8.8)	3				
25	BP0816G	スプリングボルト；M8×16	3				

MFH2520・2530 フォレージハーベスター フライホイール



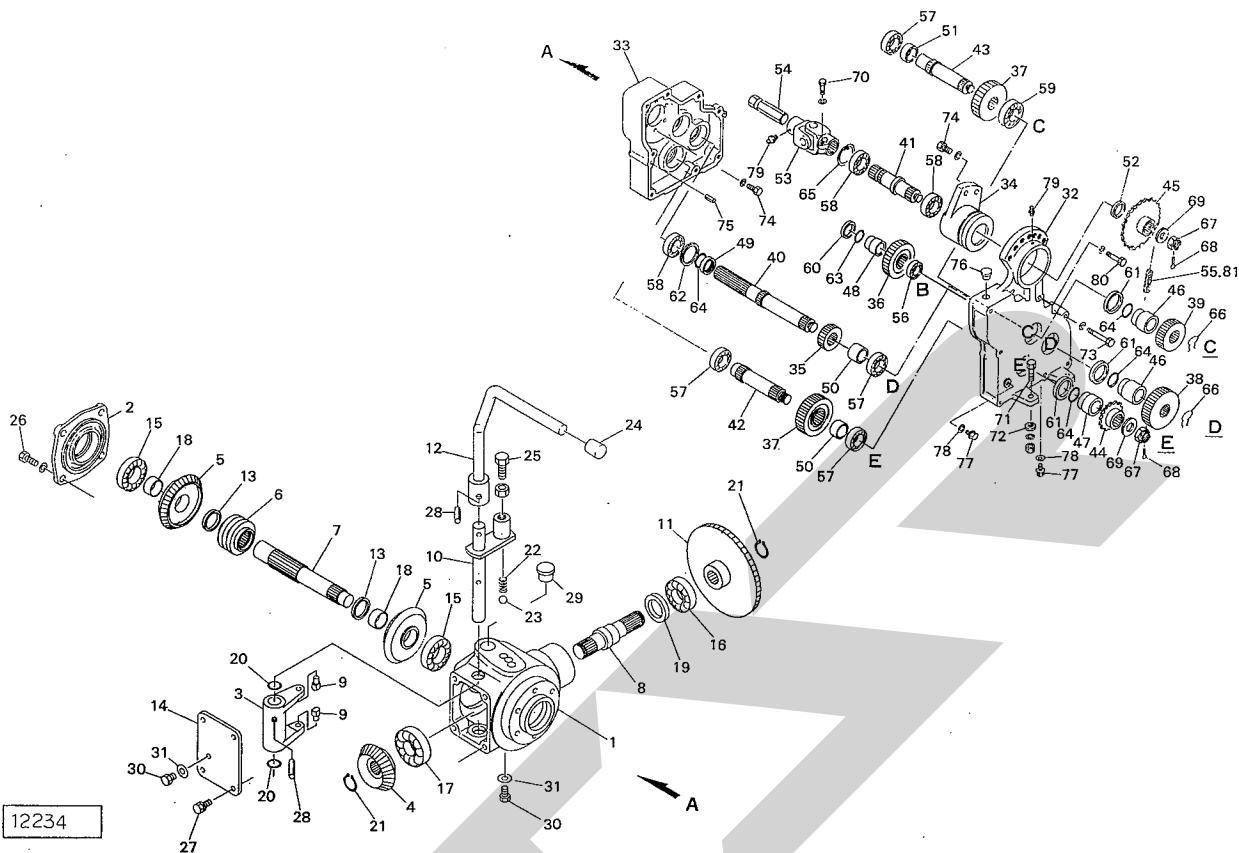
品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品名称	商品名称	個数
1	94905	シャフト；フライホイール	1	26	NZ12G	ナット；M12 (8)	2
2	94729	ハウジング	1	27	78908	カシメロックナット；M30×1.5	1
3	90278	キャップ	1	28	ONAS1	グリースニップル；A-PT1/8	1
4	94723	フライホイール	1	29	71487	キュウユホース；340	1
5	94765	ナイフホルダ	12	30	K869932	S Fツギテ；4×1/8	1
6	94716	ナイフ	6	31	K864206	S Fツギテ；4×M6	1
7	94717	シャバー；A	1	32	NZ08G	ナット；M8 (8)	12
8	94718	シャバー；B	1	33	LD6036A	ローラチェーン；60×36 (見34・35付)	1
9	94724	ブレード	3	34	AA60	ツギテ；60	1
10	90277	カラー	1	35	AD60	1ピッヂオフセット；60	2
11	81310	カラー	1	36	100139	ハイテンワッシャ	12
12	95021	スプロケット；13T	1				
13	KFC10080750	キー；10×8×75 (両丸)	1				
14	J6307	ベアリング；6307	1				
15	D45629	オイルシール；D45629	1				
16	85537	カシメロックナット；M35×1.5	1				
17	DC30	スナップリング；S30	1				
18	81029	ハイテンワッシャ；14	24				
19	BZ1240AG	ボルト；M12×40 (8.8)	6				
20	BCI0840G	ボルト；M8×40 (ステンレス全ネジ)	12				
21	BZ1440WG	ボルト；M14×40 (8.8)	24				
22	BZT1435WG	ボルト；M14×35 (10.9)	12				
23	BZ1235WG	ボルト；M12×35 (8.8)	4				
24	BZ1035WG	ボルト；M10×25 (8.8)	2				
25	BZ0820WG	ボルト；M8×20 (8.8)	4				

MFH2520・2530 フォレージハーベスター ギヤボックス



品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品名称	商品名称	個数
1	95008	ギヤケース；R	1	26	BZ0825WG	ボルト；M8×25 (8.8)	4
2	94916	キャップ	1	27	BP0820G	スプリングボルト；M8×20	4
3	95034	シフタ	1	28	PS8032	スプリングピン；8×32	2
4	94920	ベベルギヤ；18T	1	29	00717	チューユセン；23	1
5	94921	ベベルギヤ；23T	2	30	00338	プラグ；M10	2
6	94922	クラッチ	1	31	00339	パッキン；M10	2
7	95017	シャフト	1	32	95009	ギヤケース；L	1
8	95020	シャフト	1	33	95010	ギヤケース；CE	1
9	34609	ピン	2	34	94915	メタル；カウンタ	1
10	95087	シャフト	1	35	94917	ギヤ；M4×14T	1
11	95022	スプロケット；24T	1	36	94918	ギヤ；M4×21T	1
12	95088	レバー	1	37	94919	ギヤ；M4×23T	2
13	95105	カラー；25×4	2	38	70206	ギヤ；20T	1
14	95026	プレート	1	39	70209	ギヤ；16T	1
15	J6205	ベアリング；6205	2	40	95015	シャフト	1
16	J6205LLU	ベアリング；6205LLU	1	41	95016	シャフト	1
17	J6305	ベアリング；6305	1	42	96486	シャフト	1
18	70B-2515	ドライメットブッシュ；70B-2515	2	43	95019	シャフト	1
19	D30458	オイルシール；D30458	1	44	81109	スプロケット；13T	1
20	ORP20	Oリング；P20	2	45	95025	スプロケット；26T	1
21	DC25	スナップリング；S25	2	46	95101	カラー；30×41	2
22	95086	スプリング；A1.6×10×32	1	47	96487	カラー；30×21.5	1
23	JSB25	スチールボール；15/32	1	48	95103	カラー；25×31	1
24	00687	ニギリ；16	1	49	95104	カラー；30×12	1
25	BZ1435NG	ボルト；M14×35 (8.8)	1	50	56139	カラー	2

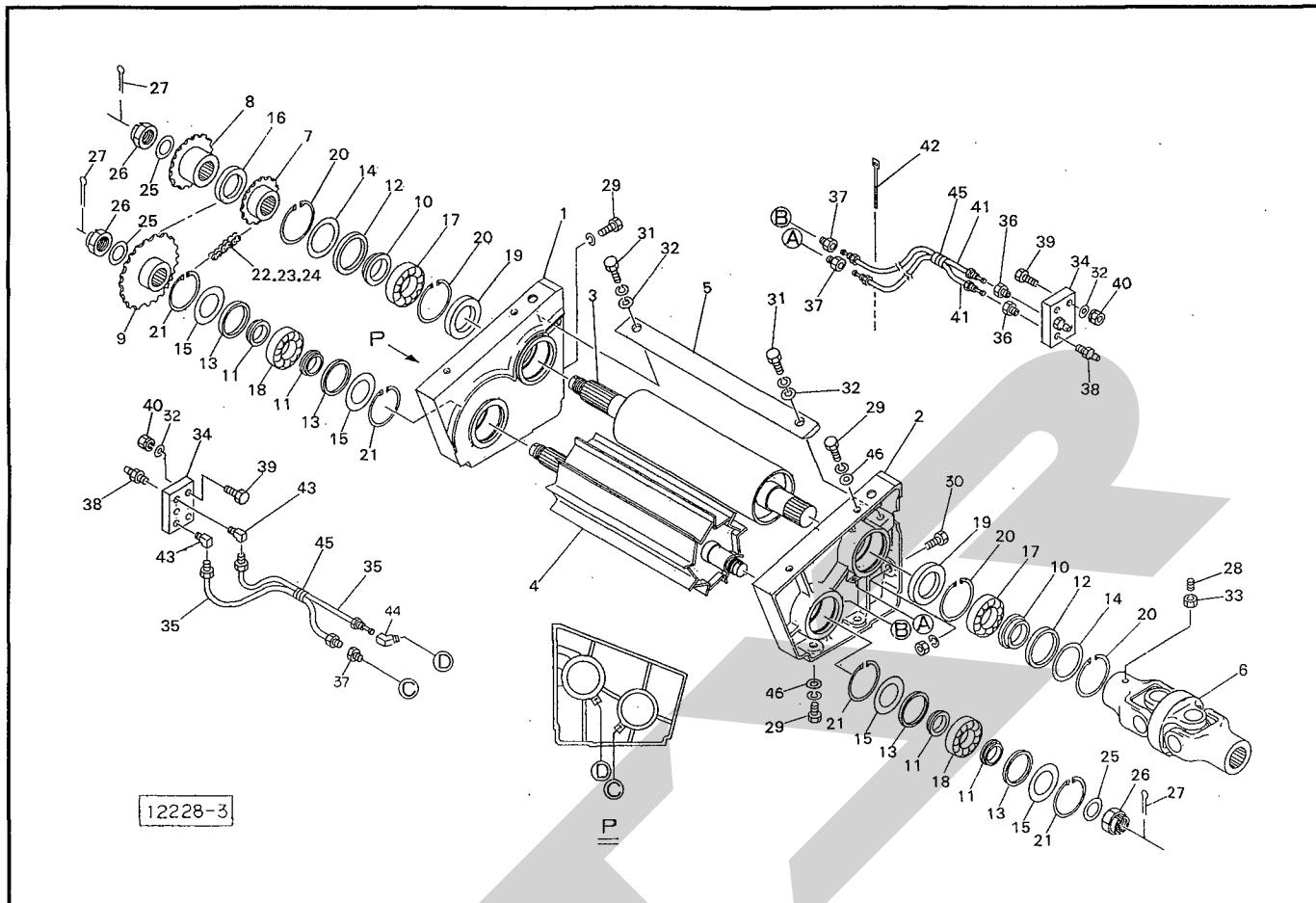
MFH2520・2530 フォレージハーベスター ギヤボックス



12234

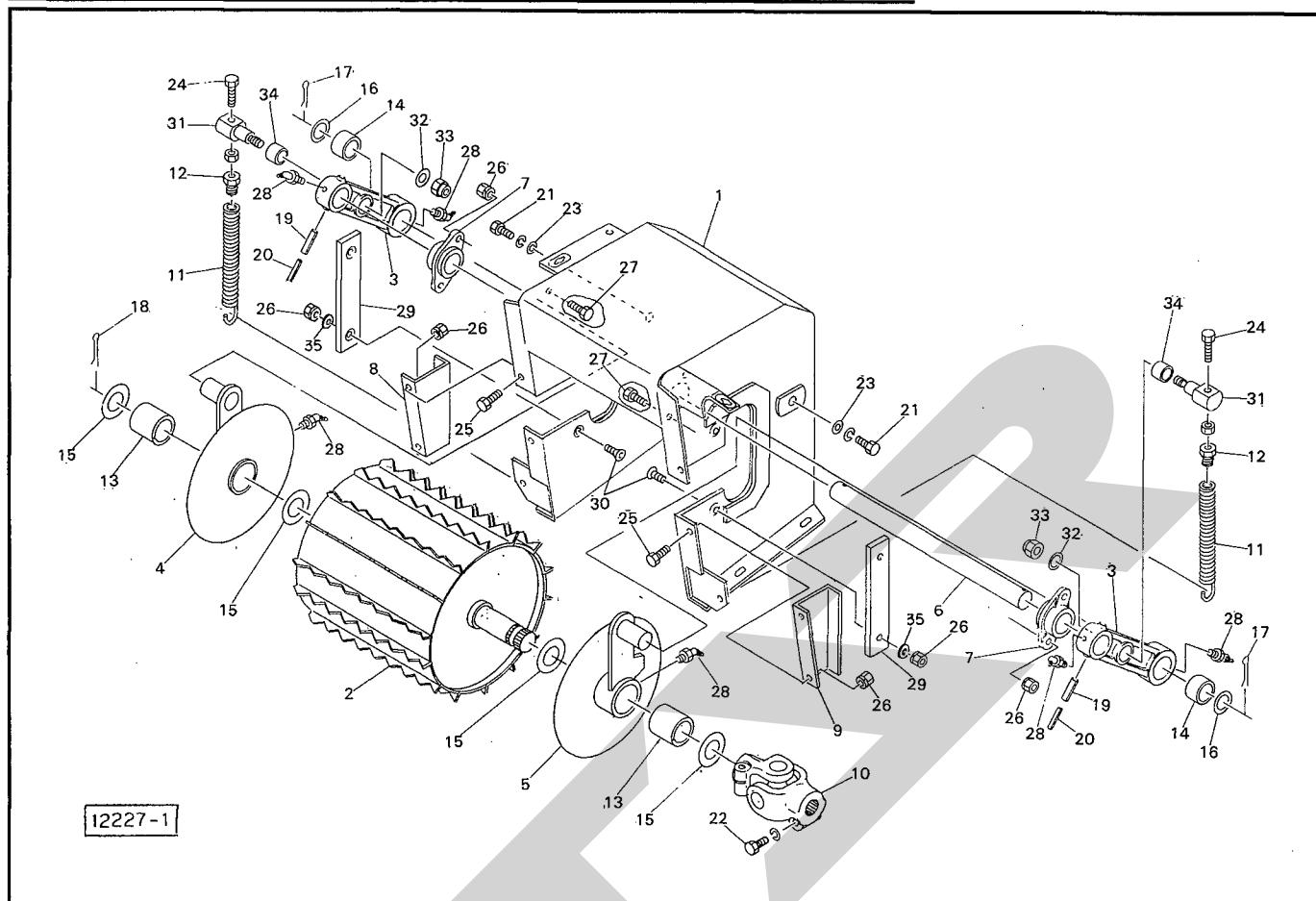
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
51	96488	カラー ; 30.5×23	1	76	00717	チューユセン	1
52	81268	カラー ; ゲージホイール	1	77	00338	プラグ ; M10	2
53	66954	ジョイント ; 2 見70・79付	1	78	00339	パッキン ; M10	2
54	95205	シャフト	1	79	ONAS6	グリースニップル ; A-M6×1F	2
55	LA5050	ローラチェーン ; 50×50 見81付	1	80	BZ1055WG	ボルト ; M10×55 (8.8)	2
56	J6204	ベアリング ; 6204	1	81	AA50	ツギテ ; 50	1
57	J6206	ベアリング ; 6206	4				
58	J6206LLU	ベアリング ; 6206LLU	3				
59	J6306	ベアリング ; 6306	1				
60	D35488	オイルシール ; D35488	1				
61	D40558	オイルシール ; D40558	3				
62	D42627	オイルシール ; D42627	1				
63	ORG25	Oリング ; G25	1				
64	ORG30	Oリング ; G30	4				
65	DHC62	スナップリング ; H62	1				
66	56984	クリップ ; 17×3	2				
67	NC2L20150G	キャッスルナット ; M20×1.5 (2種低形)	2				
68	PC4025G	ワリピン ; 4×25	2				
69	46001	ワッシャ ; 20	2				
70	BZ1245WG	ボルト ; M12×45 (8.8)	1				
71	BZ1240AG	ボルト ; M12×40 (8.8)	4				
72	65482	ワッシャ ; 12	4				
73	BZ1065WG	ボルト ; M10×65 (8.8)	6				
74	BZ1025WG	ボルト ; M10×25 (8.8)	7				
75	PS8020	スプリングピン ; 8×20	2				

MFH2520・2510 フォレージハーベスター ロール



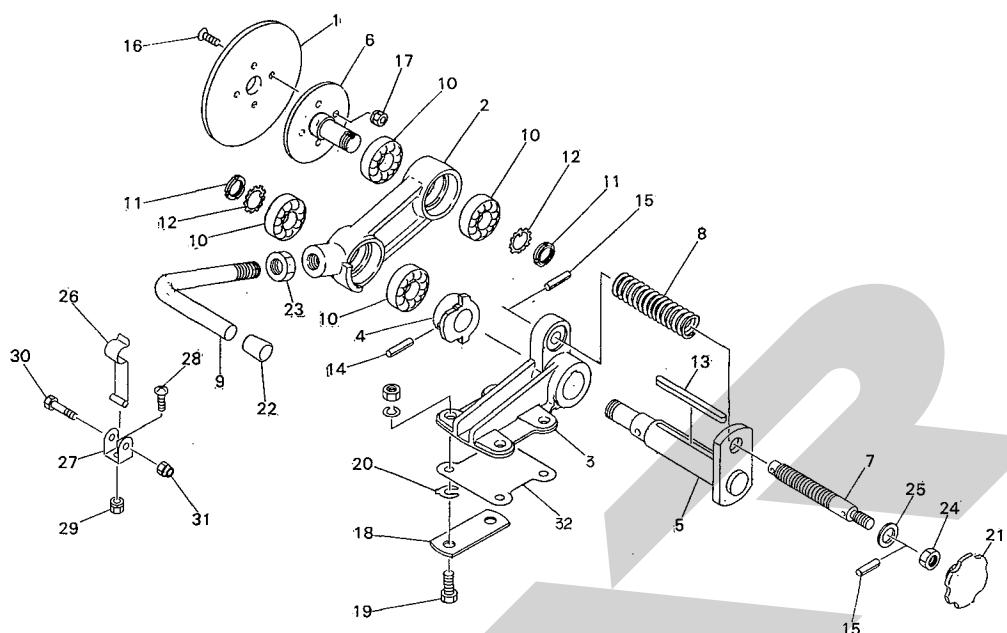
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数	
1	96692	ロールフレーム；R	1	26	NC2L20150G	キャッスルナット；M20×1.5 (2種低形)	3	
2	96693	ロールフレーム；L	1	27	PC4040G	ワリピン；4×40	3	
3	94725	プレーンロール	見27付	1	28	MD1020G	ロッカクアナトメネジ；M10×20 (10.9)	1
4	96544	フロントロール	見27付	1	29	BZ1025WG	ボルト；M10×25 (8.8)	9
5	94927	スクレーパ		1	30	BZ1030AG	ボルト；M10×30 (8.8)	1
6	81444	ジョイント	見28・33付	1	31	BZ0825WG	ボルト；M8×25 (8.8)	2
7	95023	スプロケット；12T		1	32	44097	ワッシャ；8	2
8	81108	スプロケット；14T		1	33	NZ10G	ナット；M10 (8)	1
9	61917	スプロケット；20T		1	34	95691	プレート	2
10	82565	カラー		2	35	83169	キュウユホース；450	2
11	86597	カラー		4	36	K869932	S Fツギテ；4×1/8	2
12	95185	カラー；φ47×6.5		2	37	K864106	S Fツギテ；4×M6	3
13	86598	カラー		4	38	ONAS1	グリースニップル；A-PT1/8	4
14	77238	シム		2	39	BZ0835G	ボルト；M8×35 (8.8)	4
15	86599	プレート		4	40	NP08G	スプリングナット；M8	4
16	68546	カラー；φ30.5×3.5		1	41	67489	キュウユホース；800	2
17	J6006LLU	ペアリング；6006LLU		2	42	ILT30R	インショロック；T30R	4
18	J6205LLU	ペアリング；6205LLU		2	43	K869935	L Fツギテ；4×1/8	2
19	D35558	オイルシール；D35558		2	44	K864206	L Fツギテ；4×M6	1
20	DHC55	スナップリング；H55		4	45	83644	コイルチューブ；φ6×500	2
21	DHC52	スナップリング；H52		4	46	44098	ワッシャ；10	8
22	LD5029	ローラーチェーン；50×29	見23・24付	1				
23	AA50	ツギテ；50		1				
24	AD40	1ピッチオフセット；50		1				
25	46001	ワッシャ；20		3				

MFH2520・2530 フォレージハーベスター フィードロール



番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
1	96675	ロールフレーム	1	26	NP08G	スプリングナット；M8	12
2	96540	フィードロール	1	27	BZ0825G	ボルト；M8×25 (8.8)	4
3	96563	リフトアーム 見19・20・28・34付	2	28	ONBS6	グリースニップル；B-M6×1F	6
4	96787	ガイドアーム；R 見13・28付	1	29	96541	ガイドプレート	2
5	96789	ガイドアーム；L 見13・28付	1	30	BJ0830G	ロッカクアナサラボルト；M8×30	4
6	96656	シャフト 見16・17付	1	31	96542	ピン 見33付	2
7	81129	メタル	2	32	42783	ワッシャ；M12	2
8	96666	チャンネル；R	1	33	NN12G	ナイロンナット；M12	2
9	96667	チャンネル；L	1	34	70B-2020	ドライメットブッシュ；70B-2020	2
10	66576	ジョイント；1	1	35	WRA08G	ワッシャ；M8	4
11	74523	スプリング	2				
12	55480	スプリングホルダ	2				
13	81401	ブッシュ	2				
14	96708	ブッシュ	2				
15	96104	ワッシャ	4				
16	WRA24G	ワッシャ；M24	2				
17	PC5036G	ワリピン；5×36	2				
18	PC6356G	ワリピン；6.3×56	1				
19	PS8050	スプリングピン；8×50	2				
20	PS5050	スプリングピン；5×50	2				
21	BZ1230WG	ボルト；M12×30 (8.8)	2				
22	BZ1245WG	ボルト；M12×45 (8.8)	2				
23	42783	ワッシャ；12	2				
24	BAAZ1090NG	ボルト；M10×90 (8.8) (全ネジ)	2				
25	BZ0820G	ボルト；M8×20 (8.8)	4				

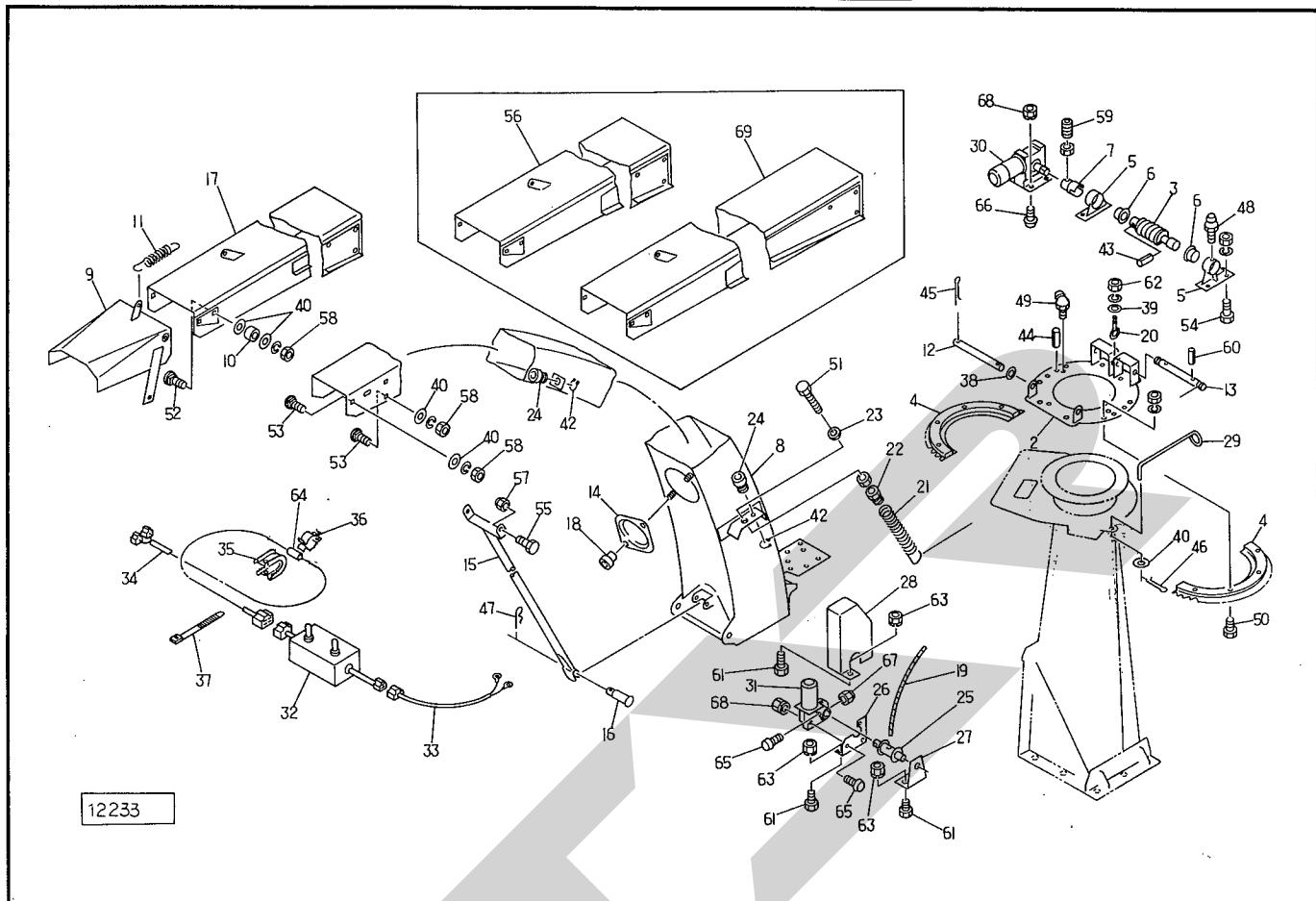
MFH2520・2530 フォレージハーベスター グラインダ



12229-1

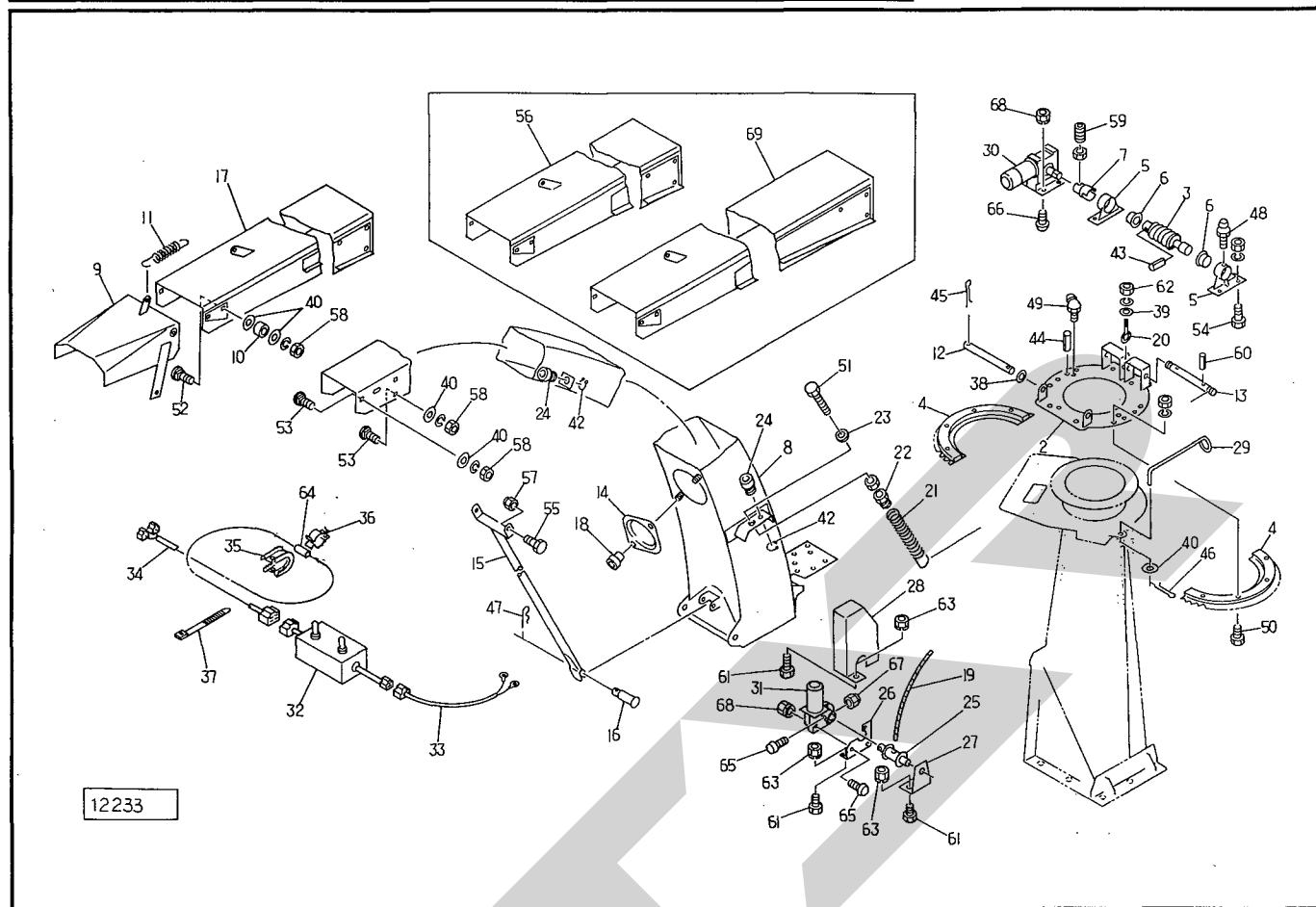
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
1	95251	グラインダ	1	26	95704	スプリング	1
2	95252	アーム	1	27	43001	カバーロック 2	1
3	95253	ホルダ	1	28	CP0820G	ナベコネジ ; M8×20	1
4	95254	ストッパー	見14付	29	NP08G	スプリングナット ; M8	1
5	95255	シャフト	1	30	BZ0635G	ボルト ; M6×35 (8.8)	1
6	95256	フランジ	1	31	NN06G	ナイロンナット ; M6	1
7	95258	ピン	見15・24付	32	101745	シム	—
8	95259	スプリング ; A24.5×105	1				
9	95260	ハンドル	見23付				
10	J6004LLU	ペアリング ; 6004LLU	4				
11	NJAN04	ペアリングナット ; AN04	2				
12	WAW04	ペアリングワッシャ ; AW04	2				
13	KFC08071000	キー ; 8×7×100 (両丸)	1				
14	PS6050	スプリングピン ; 6×50	1				
15	PS5025	スプリングピン ; 5×25	2				
16	MD0625G	ロッカクアナサラコネジ ; M6×25(10.9)	4				
17	NP06G	スプリングナット ; M6	4				
18	95406	プレート	2				
19	BZ1035AG	ボルト ; M10×35 (8.8)	4				
20	44583	調整シム ; 10×0.2	8				
21	00691	ニギリ ; M12	1				
22	00687	ニギリ ; M16 (8)	1				
23	NZ16G	ナット ; M16 (8)	1				
24	NZ12G	ナット ; M12 (8)	1				
25	42322	ワッシャ ; 16	1				

MFH2520・2530 フォレージハーベスター シート



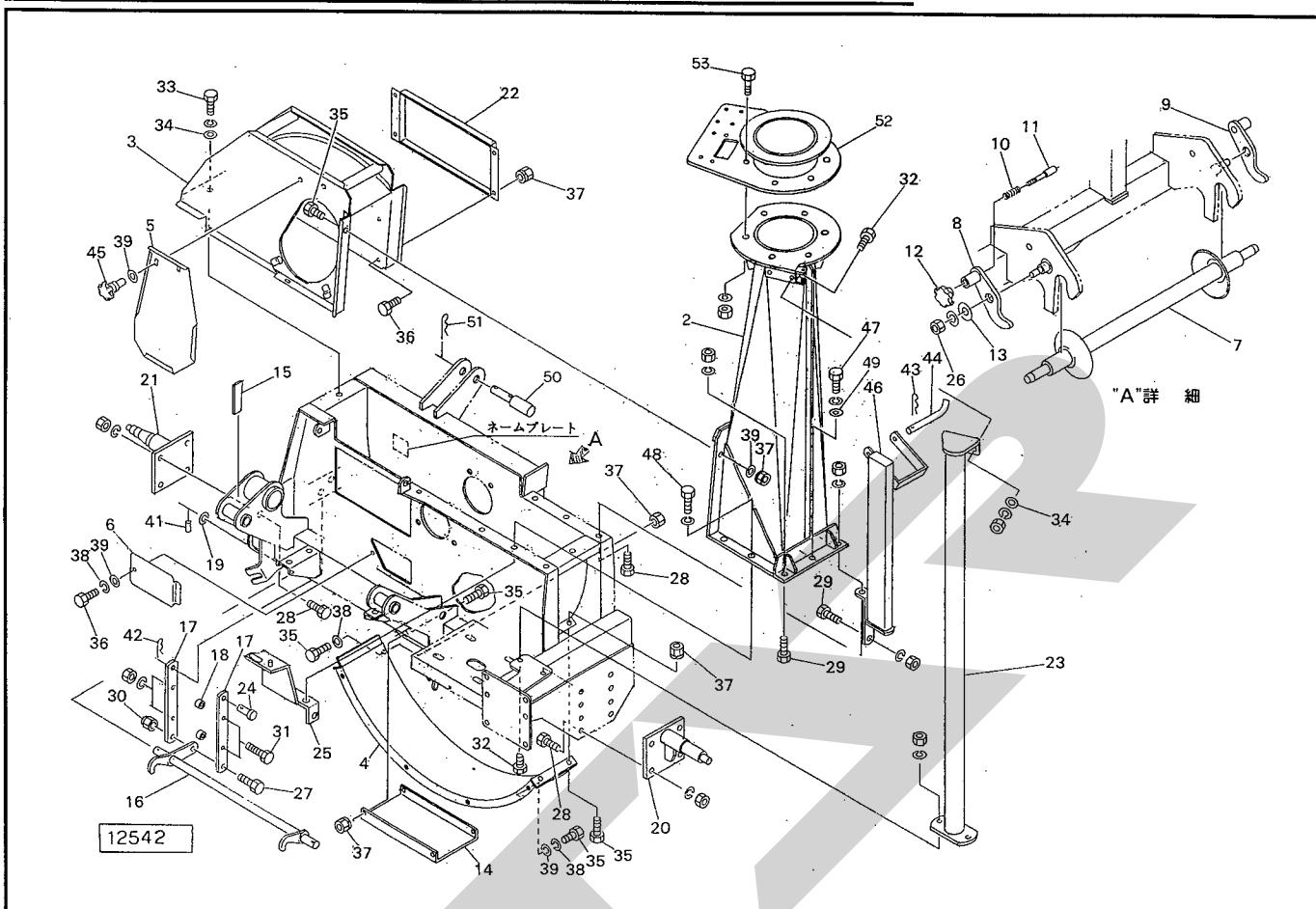
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数	
2	96533	フランジ	見44・49付	1	27	72944	アングル	1
3	81460	ウォーム		1	28	70343	カバー	1
4	81461	ウォームホイール		2	29	71615	ホースウケ	見46付
5	81462	メタル	見6・48付	2	30	94325	モータ；ウォーム	1
6	81463	ブッシュ		2	31	70351	パワーウィンドモータ	1
7	81464	カッピング	見59付	1	32	94353	スイッチボックス	1
8	96532	シート		1	33	82143	コード	1
9	90612	ヘッド		1	34	82144	コード	1
10	84346	カラー		3	35	EZAIS	パイラック；IS型	1
11	84083	スプリング		1	36	EZB15C	パイラッククリップ；15-C	2
12	82513	ピン	見45付	1	37	ILT50R	インシュロック；T50R	1
13	96534	ピン		1	38	42322	ワッシャ；16	2
14	55640	フランジ		1	39	67931	ワッシャ；12	1
15	82657	ステー		1	40	44098	ワッシャ；10	13
16	76132	ピン	見47付	1	41	44097	ワッシャ；8	3
17	91794	イクステンションシート		1	42	DC20	スナップリング；S20	1
18	44289	ニギリ；M8		4	43	PS8050	スプリングピン；8×50	1
19	82678	ロープ；4.5×3500		1	44	PS8040	スプリングピン；8×40	4
20	96536	アイボルト		1	45	PC3232G	ワリピン；3.2×32	2
21	96535	スプリング；H70×36×585		2	46	PC3216G	ワリピン；3.2×16	1
22	70286	スプリングホルダ		2	47	00085	ベータピン；8×1.6	1
23	25266	キューメンザガネ		2	48	ONAS6	グリースニップル；A-M6×1F	2
24	66672	ガイド		2	49	ONBS6	グリースニップル；B-M6×1F	4
25	72942	ブーリ		1	50	BZ1260AG	ボルト；M12×60 (8.8)	8
26	70347	ブラケット		1	51	BAAZ12100NG	ボルト；M12×100 (8.8) 全ネジ	2

MFH2520・2530 フォレージハーベスター シート



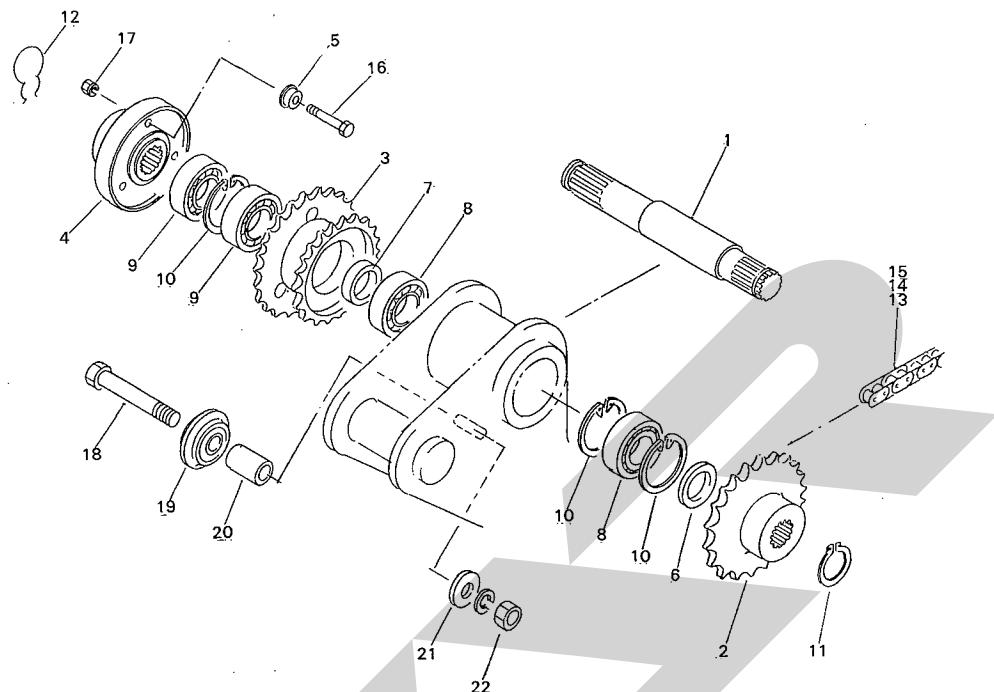
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名稱	個数
52	00443	カクネボルト ; M10×35 (見58付)	3				
53	00451	カクネボルト ; M10×25 (見58付)	6				
54	BZ1035AG	ボルト ; M10×35 (8.8)	4				
55	BZ1030G	ボルト ; M10×30 (8.8)	2				
56	82520	イクステンションシート(短)オプション	1				
57	NN10G	ナイロンナット ; M10	2				
58	NZ10WG	ナット ; M10 (8)	9				
59	MD0820N	ロッカクアナタメネジ ; M8×20	1				
60	PS5032	スプリングピン ; 5×32	2				
61	BZ0820G	ボルト ; M8×20 (8.8)	6				
62	NZ12WG	ナット ; M12	1				
63	NP08G	スプリングナット ; M8	6				
64	71685	パイプ	1				
65	CP0625G	ナベコネジ ; M6×25	4				
66	CP0620G	ナベコネジ ; M6×20	4				
67	NN06G	ナイロンナット ; M6	1				
68	NP06G	スプリングナット ; M6	7				
69	91832	イクステンションシート(長)オプション	1				

MFH2520・2530 フォレージハーベスター フレーム



番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
2	101680	ダクト	1	28	BZ1240AG	ボルト ; M12×40 (8.8)	9
3	103651	トップケーシング	1	29	BZ1230AG	ボルト ; M12×30 (8.8)	4
4	103653	ボトムプレート	1	30	NN12G	ナイロンナット ; M12	1
5	95194	カバー	1	31	BZ1040AG	ボルト ; M10×40 (8.8)	2
6	96668	カバー	1	32	BZ1030AG	ボルト ; M10×30 (8.8)	4
7	94924	ツールバー	1	33	BZ1025WG	ボルト ; M10×25 (8.8)	1
8	94710	フック ; R	1	34	75290	ワッシャ ; 10	3
9	94711	フック ; L	1	35	BZ0825G	ボルト ; M8×25 (8.8)	16
10	78897	スプリング	2	36	BZ0816G	ボルト ; M8×16 (8.8)	5
11	66739	ロックピン	2	37	NP08G	スプリングナット ; M8	18
12	00691	ニギリ ; M12	2	38	WS08G	Sワッシャ ; M8	3
13	86661	プレート	2	39	44097	ワッシャ ; 8	13
14	95093	チャンネル	1	41	PS5032	スプリングピン ; 5×32	2
15	81180	ロックプレート	2	42	00087	ベータピン ; 16×2.3	1
16	96709	フック	1	43	00085	ベータピン ; 8×1.6	1
17	95207	プレート	2	44	59657	ピン Ⓐ43付	1
18	73555	スペーサ	2	45	00690	ニギリ ; M8×14	2
19	46001	ワッシャ ; 20	2	46	95726	ステー	1
20	94925	シャジク	1	47	BZ1230WG	ボルト ; M12×30 (8.8)	1
21	96690	シャジク	1	48	BZ1240WG	ボルト ; M12×40 (8.8)	2
22	81503	ケーシングカバー	1	49	42783	ワッシャ ; 12	1
23	95225	ステー	1	50	00098	トップリングピン ; I・II	1
24	00069	ピン ; B16×35	1	51	00088	ベータピン ; 19×3	1
25	96697	ブラケット	1	52	101684	フランジ	1
26	NZ20WG	ナット ; M20 (8)	2	53	BZ1235AG	ボルト ; M12×35 (8.8)	6
27	BZ1245G	ボルト ; M12×45 (8.8)	1				

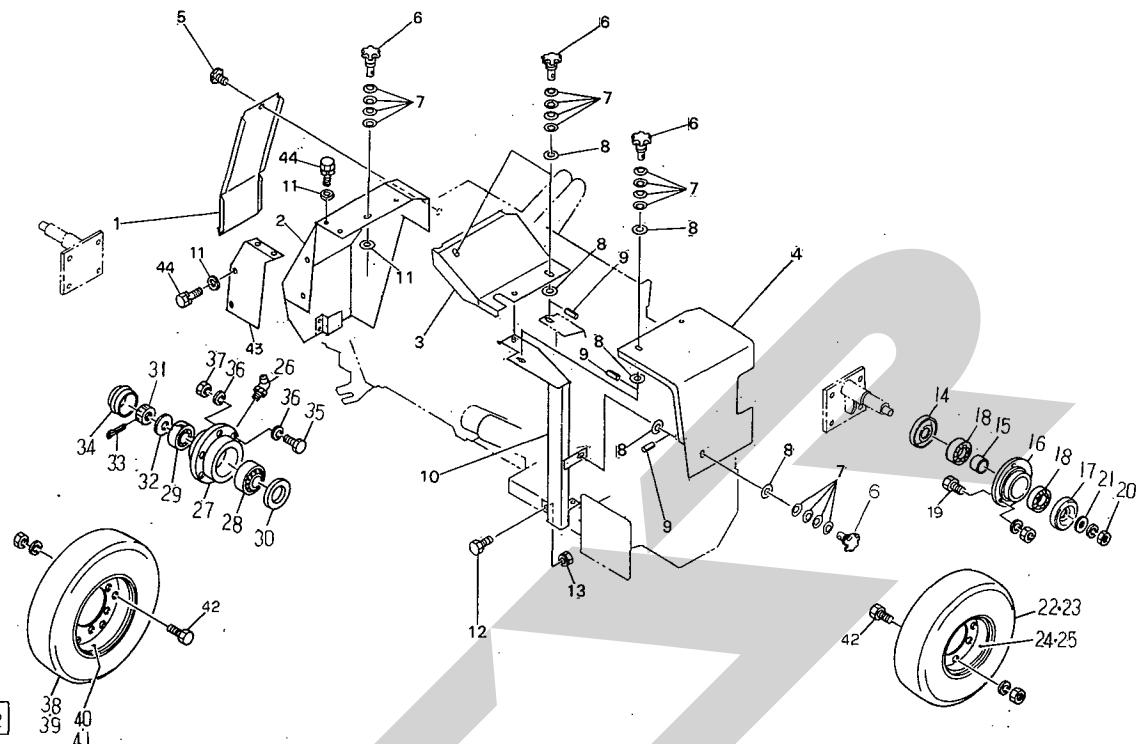
MFH2520・2530 フォレージハーベスター カウンタ



12224

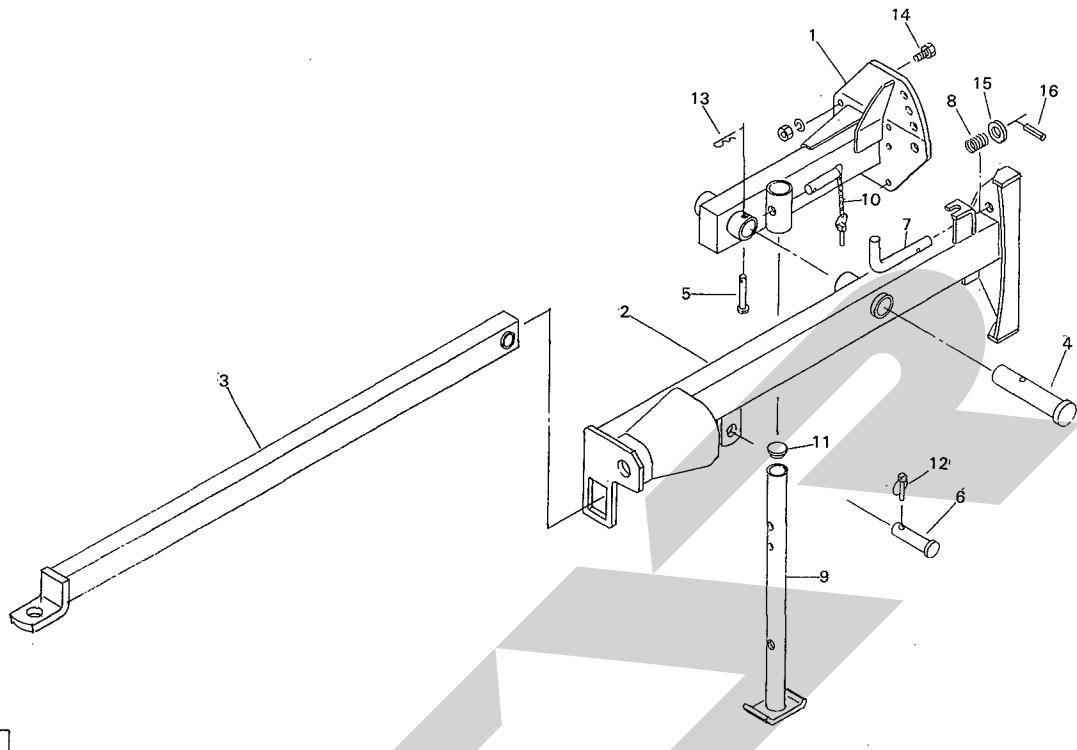
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
1	95035	シャフト；カウンタ	1				
2	95024	スプロケット；18T	1				
3	95036	スプロケット	1				
4	89613	シャーボルトホルダ	1				
5	46462	ブッシュ	1				
6	74505	カラー	1				
7	64523	カラー	1				
8	J6005Z	ベアリング；6005Z	2				
9	J6005LLU	ベアリング；6005LLU	2				
10	DHC47	スナップリング；H47	3				
11	DC25	スナップリング；S25	1				
12	56984	クリップ；17×3	1				
13	LD5029	ローラーチェーン；50×29 (見14・15付)	1				
14	AA50	ツギテ；50	1				
15	AD50	1ピッチオフセット；50	1				
16	81232	シャーボルト；M6×30 (10.9)	1				
17	NP06G	スプリングナット；M6	1				
18	83111	ボルト	1				
19	81267	テンションローラ	1				
20	95327	カラー	1				
21	78880	ハイテンワッシャ；M16	1				
22	NZ16WG	ナット；M16 (8)	1				

MFH2520・2530 フォレージハーベスター カバー・タイヤ・ハブ

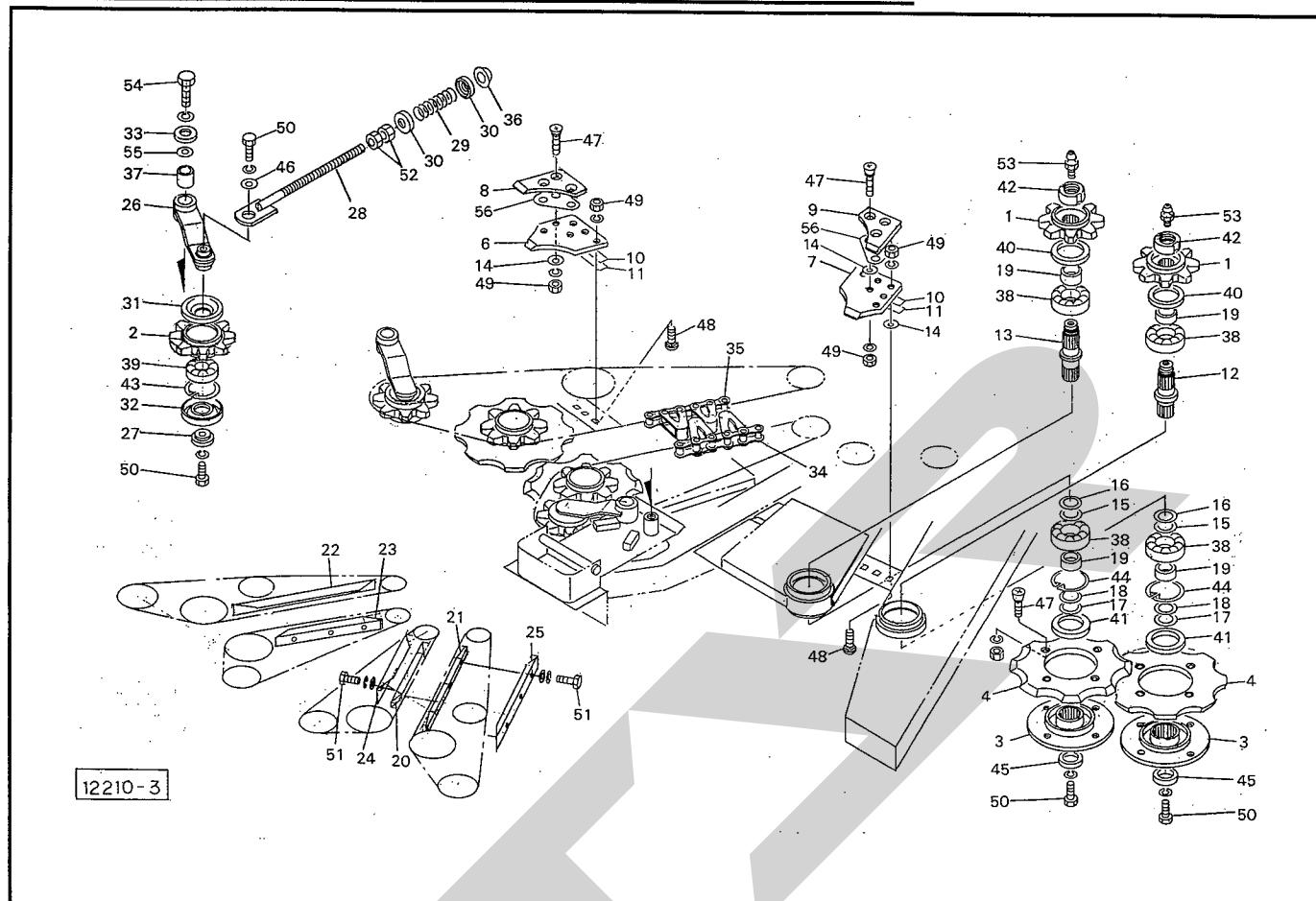


番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
1	95516	カバー	1	26	ONBS1G	グリースニップル；B-PT1/8	1
2	96691	チェーンカバー；R	1	27	00406	ハブ；A52×72	1
3	96699	チェーンカバー 1；L	1	28	J30207	テーパベアリング；30207	1
4	96700	チェーンカバー 2；L	1	29	J30205	テーパベアリング；30205	1
5	00690	ニギリ；M8×14	1	30	00500	シールワッシャ；35×72	1
6	79658	ニギリ；50	5	31	00712	キャッスルナット；M24×1.5	1
7	79659	サラバネ	20	32	WRA24G	ワッシャ；M24	2
8	WRA08G	ワッシャ；M8	8	33	PC4032G	ワリピン；4×32	1
9	PS4016	スプリングピン；4×16	5	34	00414	キャップ；52	1
10	96698	ステー	1	35	00421	ボルト；M12×1.5×45	6
11	44097	ワッシャ；8	5	36	WS12G	Sワッシャ；M12	12
12	BZ1025G	ボルト；M10×25 (8.8)	2	37	NZ12150G	ナット；M12×1.5	6
13	NP10G	スプリングナット；M10	2	38	55529	タイヤ；6.00-9-10PR	1
14	70433	キャップ	1	39	55530	チューブ；6.00-9	1
15	69467	カラー	1	40	64906	ホイール；4.00E-9DT	1
16	00522	ハブ	1	41	64907	ホイール；4.00E-9DT (バルブ穴付)	1
17	00764	キャップ	1	42	BA1225AG	ボルト；M12×25	12
18	J6206LLU	ボールベアリング；6206LLU	2	43	98388	カバー	1
19	BZ1030AG	ボルト；M10×30 (8.8)	4	44	BP0816G	スプリングボルト；M8×16	4
20	NZ16WG	ナット；M16 (8)	1				
21	00761	ワッシャ；16	1				
22	57940	タイヤ；5.00-9-8PR	1				
23	57941	チューブ；5.00-9	1				
24	00448	ホイール；3.50-9DT	1				
25	00449	ホイール；3.50-9DT (バルブ穴付)	/				

MFH2520・2530 フォレージハーベスター カウンタフレーム

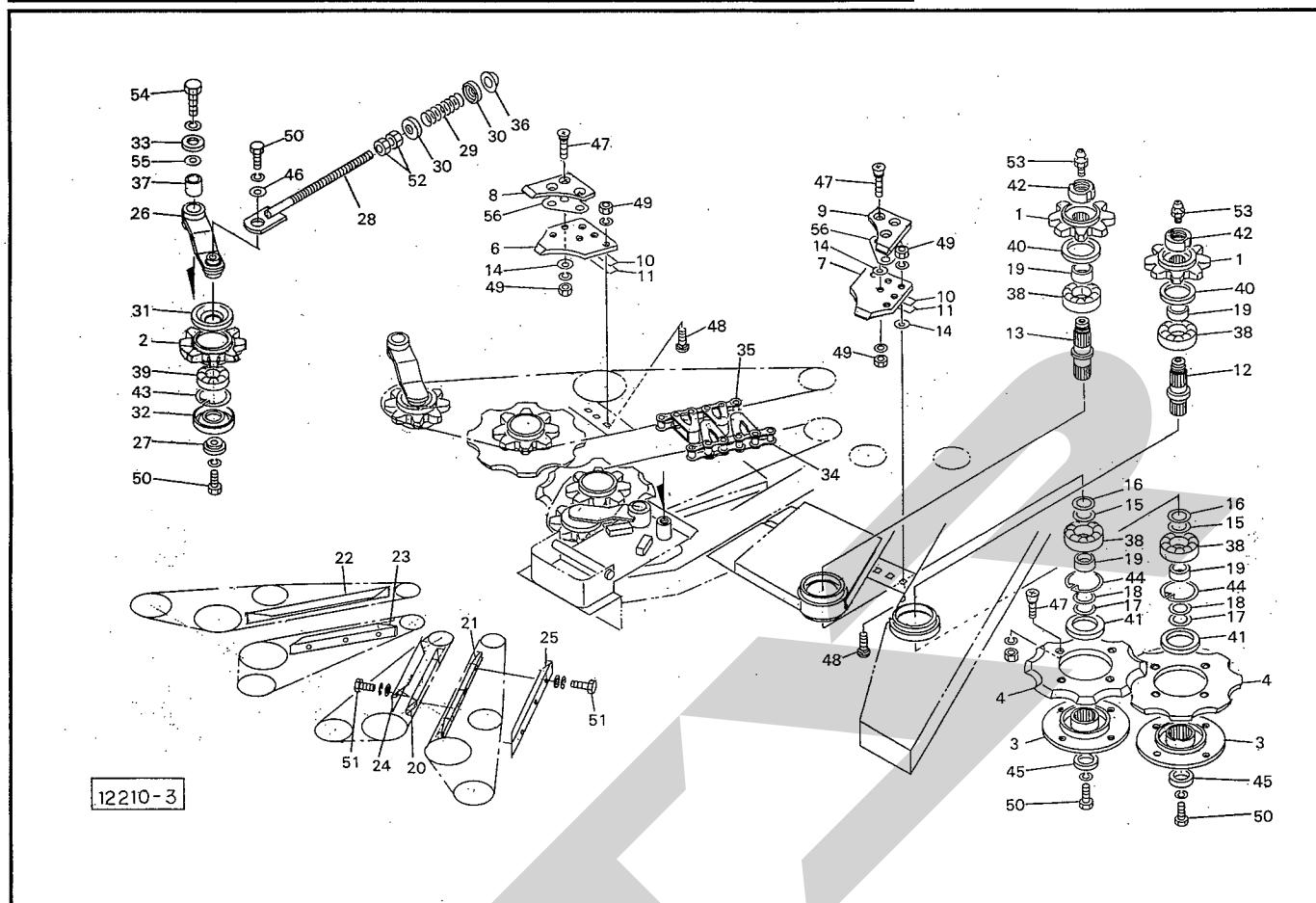


ARC2520 ロークロップアタッチメント ギャザリング

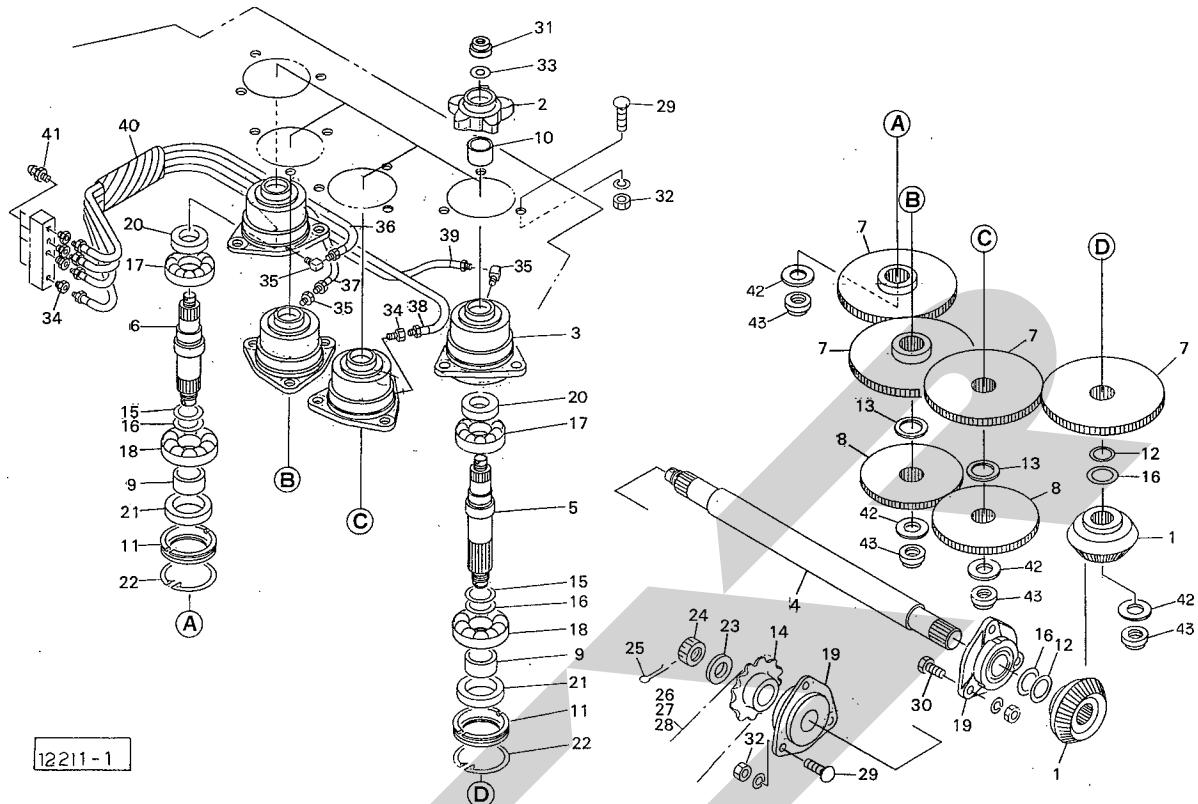


番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
1	70422	スプロケット ; 8T	4	26	95174	テンションアーム	④37付
2	63513	スプロケット ; 8T	4	27	95177	ワッシャ	4
3	91303	ナイフホルダ	4	28	95176	テンションボルト	④52付
4	100198	ナイフ ; R	2	29	94349	スプリング ; A7×25×87	4
5	100199	ナイフ ; L	2	30	95178	ワッシャ	8
6	81639	スクレーパ 1 ; R	1	31	70433	キャップ	4
7	81640	スクレーパ 1 ; L	1	32	63514	キャップ ; 1	4
8	81641	スクレーパ 2 ; R	1	33	58340	ワッシャ ; 11×4.5	4
9	81642	スクレーパ 2 ; L	1	34	96480	ギャザリングチェーン ; 36リンク	2
10	75970	シム	—	35	80979	ギャザリングチェーン ; 44リンク	2
11	75971	シム	—	36	69381	キューメンザガネ ; M16	4
12	91179	シャフト	④53付	37	70B-2535	ドライメットブッシュ ; 70B-2535	4
13	91180	シャフト	④53付	38	J6207Z	ペアリング ; 6207Z	8
14	57742	シム ; $\phi 25 \times \phi 14 \times 0.8$	—	39	J6206LLU	ペアリング ; 6206LLU	4
15	59986	シム ; $\phi 30.5 \times 0.1$	—	40	GM48626	オイルシール ; GM48626	4
16	59987	シム ; $\phi 30.5 \times 0.2$	—	41	S48728	オイルシール ; S48728	4
17	70420	シム	—	42	82316	カシメロックナット ; M25×1.5	4
18	70421	シム	—	43	DHC62	スナップリング ; H62	4
19	91181	カラー ; 30×17	8	44	DHC72	スナップリング ; H72	4
20	91593	バー ; レール	2	45	93059	ワッシャ ; 12	4
21	95170	バー ; レール	2	46	65482	ワッシャ ; 12	4
22	95171	アングル ; 1	1	47	44091	カクネサラボルト ; M10×30 (8.8)	22
23	91595	アングル ; 2	1	48	43067	カクネボルト ; M10×30 (8.8)	6
24	91596	アングル ; 3	1	49	NZ10WG	ナット ; M10 (8)	28
25	95172	アングル ; 4	1	50	BZ1225WG	ボルト ; M12×25 (8.8)	12

ARC2520 ロークロップアタッチメント ギャザリング

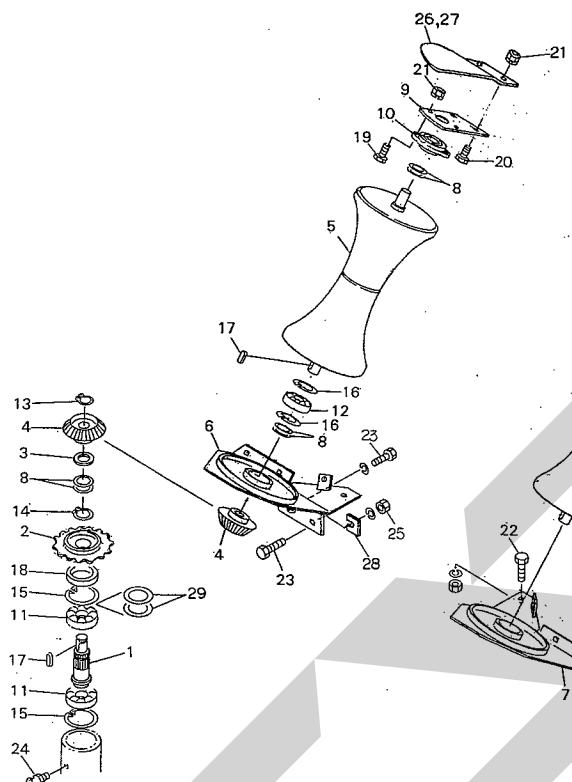


ARC2520 ロークロップアタッチメント ピッカドライブ



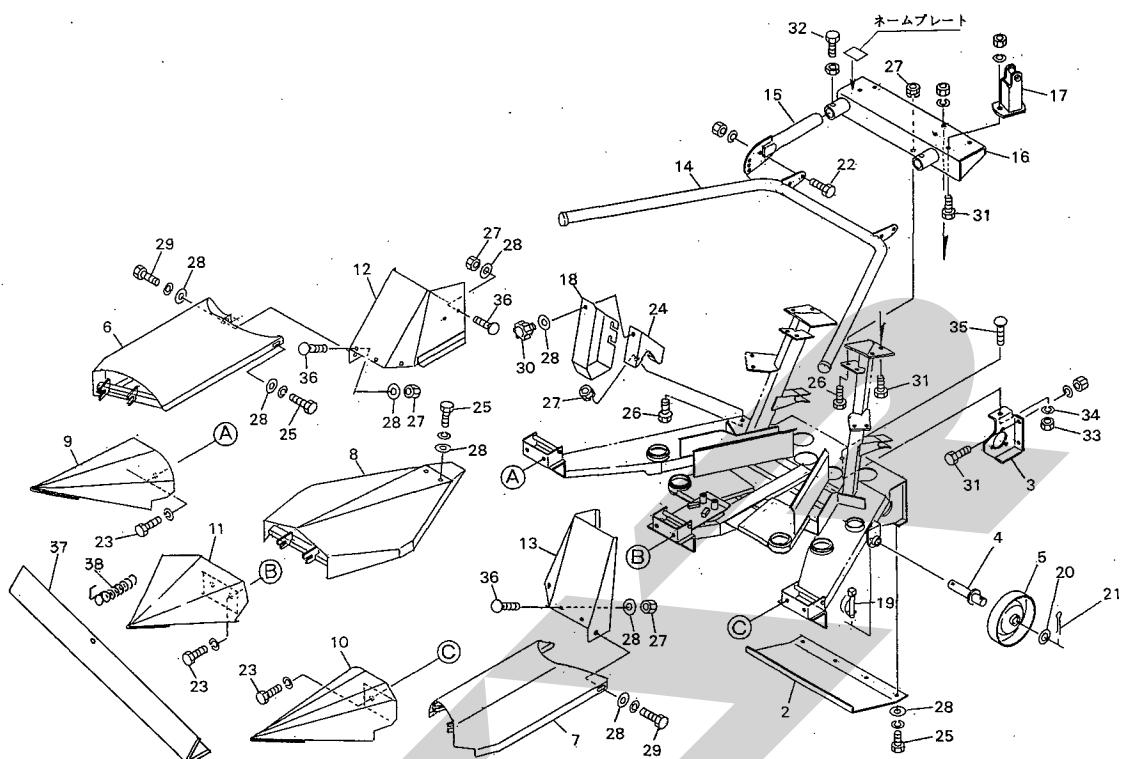
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
1	73979	マイタギヤ ; M5×18T	2	26	LD5057	ローラチェーン ; 50×57 (見27・28付)	1
2	100143	スプロケット ; 5T	4	27	AA50	ツギテ ; 50	1
3	91183	ハウジング	4	28	AD50	1ピッチオフセット ; 50	1
4	94841	シャフト (見25付)	1	29	43067	カクネボルト ; M10×30 (8.8)	15
5	100818	シャフト ; 1	3	30	BZ1030AG	ボルト ; M10×30 (8.8)	3
6	100819	シャフト ; 2	1	31	85801	カシメロックナット ; M20×1	4
7	94839	ギヤ ; M5×30T	4	32	NZ10WG	ナット ; M10 (8)	15
8	94840	ギヤ ; M5×26T	2	33	46001	ワッシャ ; 20	4
9	94844	カラー ; 30×23	4	34	K869932	S Fツギテ ; 4×1/8	6
10	91184	カラー ; 25×22	4	35	K869935	L Fツギテ ; 4×1/8	2
11	91186	カラー ; 62×12	4	36	71489	キュウユホース ; 540	1
12	73444	シム	—	37	83643	キュウユホース ; 590	1
13	WRA30G	ワッシャ ; M30	2	38	83170	キュウユホース ; 900	1
14	70832	スプロケット ; 16T	1	39	67489	キュウユホース ; 800	1
15	59986	シム ; φ30.5×0.1	—	40	83644	コイルチューブ ; φ6×500	1
16	59987	シム ; φ30.5×0.2	—	41	ONAS1	グリースニップル ; A-PT1/8	4
17	J6206	ペアリング ; 6206	4	42	60807	ワッシャ	4
18	J6306	ペアリング ; 6306	4	43	82316	カシメロックナット ; M25×1.5	4
19	00730	メタル ; UC206	2				
20	AD30458	オイルシール ; S30458	4				
21	D40628	オイルシール ; D40628	4				
22	DHC72	スナップリング ; H72	4				
23	75318	ザガネ	5				
24	NC2L20150G	キャッスルナット ; M20×1.5 (2種低形)	1				
25	PC4025G	ワリピン ; 4×25	1				

ARC2520 ロークロップアタッチメント タテロール



番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
1	100192	シャフト	2	26	98223	タテロールカバー；R	1
2	70422	スプロケット；8T	2	27	98224	タテロールカバー；L	1
3	59097	ワッシャ；3.2×20	2	28	57460	シム	4
4	81542	ペベルギヤ；20T	4	29	100350	シム；30.5×1.0	4
5	83635	ロール	2				
6	95274	ブラケット；R	1				
7	95275	ブラケット；L	1				
8	57788	シム	12				
9	81683	プレート	2				
10	JASFB204	ヒシフランジ形ユニット；ASFB204	2				
11	J6206Z	ベアリング；6206Z	4				
12	J6204LLU	ベアリング；6204LLU	2				
13	DC20	スナップリング；S20	2				
14	DC30	スナップリング；S30	2				
15	DHC62	スナップリング；H62	4				
16	DHC47	スナップリング；H47	4				
17	KFC5050200	キー；5×5×20（両丸）	4				
18	GM48626	オイルシール；GM48626	2				
19	BZ0825G	ボルト；M8×25（8.8）	4				
20	BZ0820G	ボルト；M8×20（8.8）	4				
21	NP08G	スプリングナット；M8	8				
22	BZ0820WG	ボルト；M8×20（8.8）	2				
23	BZ1025WG	ボルト；M8×25（8.8）	4				
24	ONCS1	グリースニップル；C-PT1/8	2				
25	NZ10G	ナット；M10（8）	2				

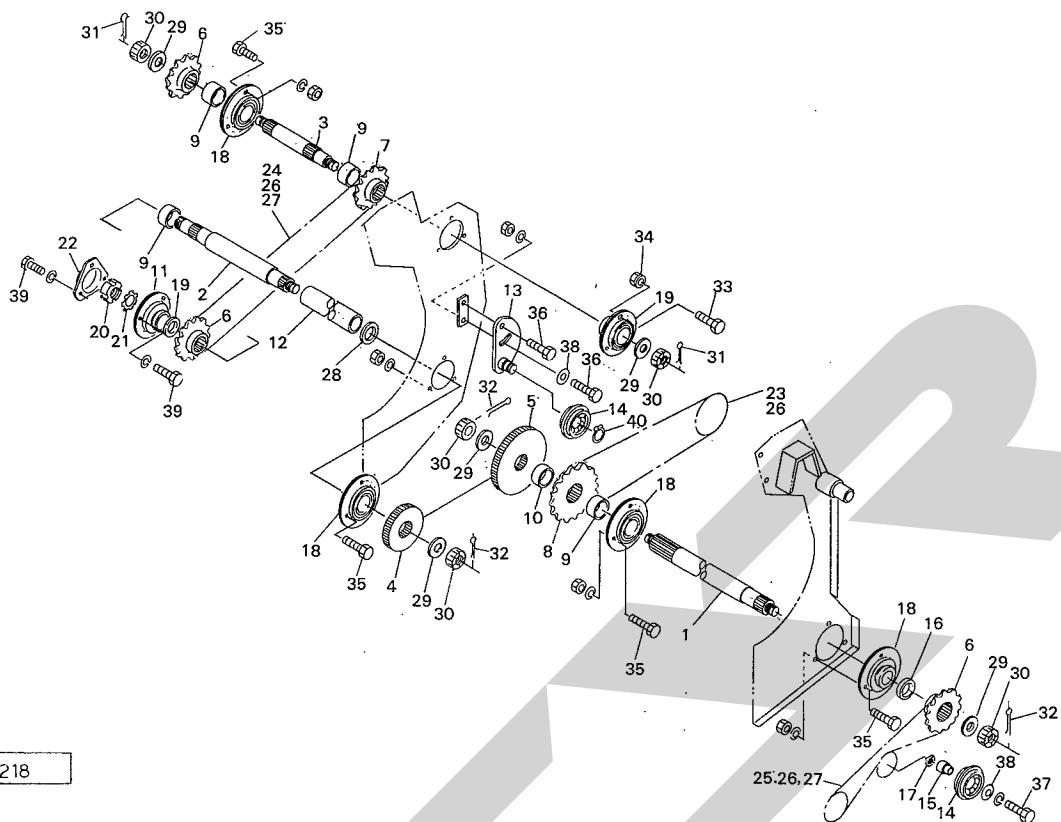
ARC2520 ロークロップアタッチメント フレーム・カバー



12209-1

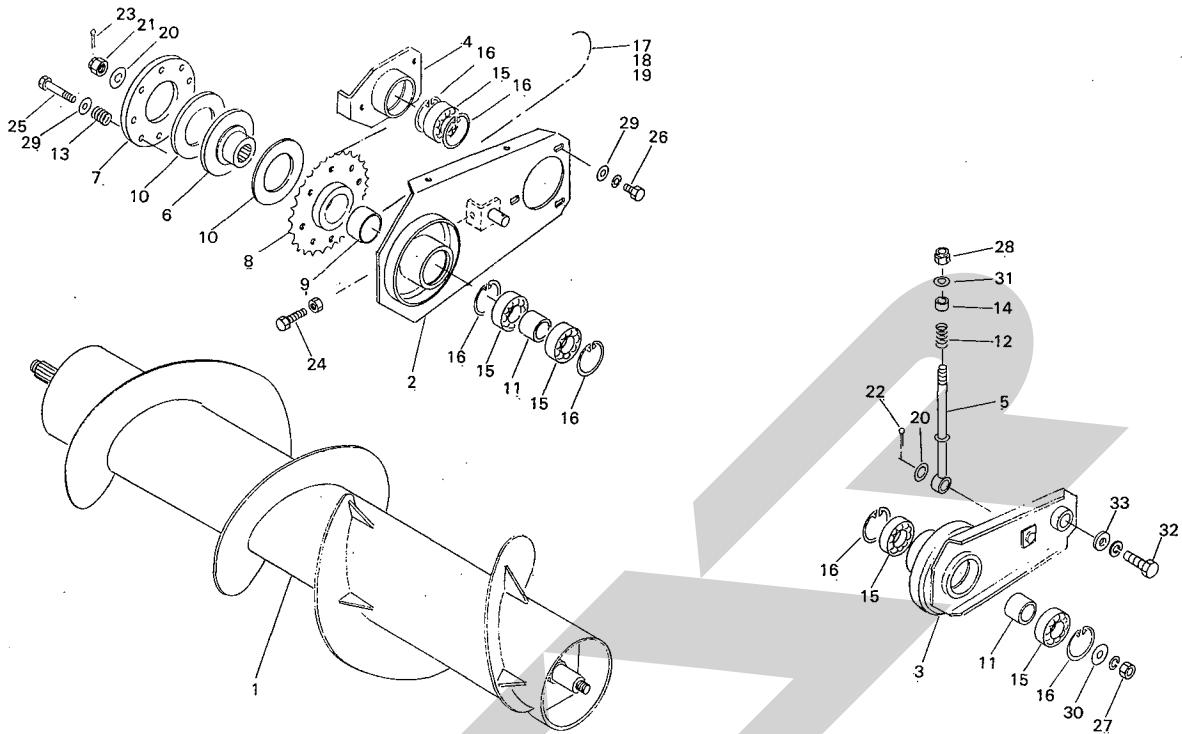
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
2	95330	カバー	1	27	NP08G	スプリングナット；M8	16
3	95179	ブラケット	1	28	44097	ワッシャ；8	25
4	81687	ロッド	見20・21付	29	BZ0825WG	ボルト；M8×25 (8.8)	2
5	67914	ホイール	2	30	00690	ニギリ；M8×14	1
6	95444	デバイダカバー；R	1	31	BZ1025AG	ボルト；M10×25 (8.8)	8
7	95447	デバイダカバー；L	1	32	BZ1025NG	ボルト；M10×25 (8.8)	2
8	95436	デバイダカバー；CE	1	33	NZ10G	ナット；M10 (8)	1
9	95450	ポイント；R	1	34	WS10G	Sワッシャ；M10	1
10	95456	ポイント；L	1	35	43067	カクネボルト；M10×30 (8.8)	1
11	95530	ポイント；CE	1	36	55474	カクネボルト；M8×20 (8.8)	10
12	95410	ロールカバー；R	1	37	98225	デバイダカバー	1
13	95413	ロールカバー；L	1	38	42242	セットスプリング (B)	1
14	83729	ストークガイド	1				
15	83730	ステー	2				
16	95173	ブラケット	見32付				
17	95537	チャンネル	1				
18	96559	カバー	1				
19	00453	デルタピン；9	2				
20	WRA24G	ワッシャ；M24	2				
21	PC0536G	ワリピン；5×36	2				
22	BZ1235AG	ボルト；M12×35 (8.8)	4				
23	BZ1230WG	ボルト；M12×30 (8.8)	6				
24	96560	ブラケット	1				
25	BZ0820WG	ボルト；M8×20 (8.8)	12				
26	BZ0820G	ボルト；M8×20 (8.8)	6				

APU2500 ピックアップアタッチメント ドライブ



番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
1	96969	シャフト；ドライブ	1	26	AA50	ツギテ；50	3
2	96970	シャフト	1	27	AD50	1ピッチオフセット；50	2
3	82380	シャフト	1	28	70212	カラー	1
4	81111	ギヤ；17T	1	29	46001	ワッシャ	5
5	81112	ギヤ；27T	1	30	NC2L20150G	キャスルナット；M20×1.5(2種低形)	5
6	70832	スプロケット；16T	3	31	PC3232G	ワリピン；3.2×32	2
7	80773	スプロケット；18T	1	32	PC4032G	ワリピン；4×32	3
8	59310	スプロケット；24T	1	33	BZ0820G	ボルト；M8×20(8.8)	3
9	82480	カラー	4	34	NP08G	スプリングナット；M8	3
10	96971	カラー；32.9×19	1	35	BZ1025AG	ボルト；M10×25(8.8)	12
11	96972	カラー；25.5×5	1	36	BZ1035AG	ボルト；M10×35(8.8)	2
12	96973	パイプ	1	37	BZ1260WG	ボルト；M12×60(8.8)	1
13	76127	テンションアーム	1	38	44098	ワッシャ；10	1
14	81267	テンションローラ	2	39	BZ0816WG	ボルト；M8×16(8.8)	6
15	82660	カラー	1	40	DC17	スナップリング；S17	1
16	55204	カラー	1				
17	80925	ナット	1				
18	JASPF206	ユニットベアリング；ASPF206	4				
19	JASPF205	ユニットベアリング；ASPF205	2				
20	NJAN05	ベアリングナット；AN05	1				
21	WAW05	ベアリングワッシャ；AW05	1				
22	74045	キャップ	1				
23	LA5056	ローラチェーン；50×56 見26付	1				
24	LD5059	ローラチェーン；50×59 見26・27付	1				
25	LA5084	ローラチェーン；50×84 見26付	1				

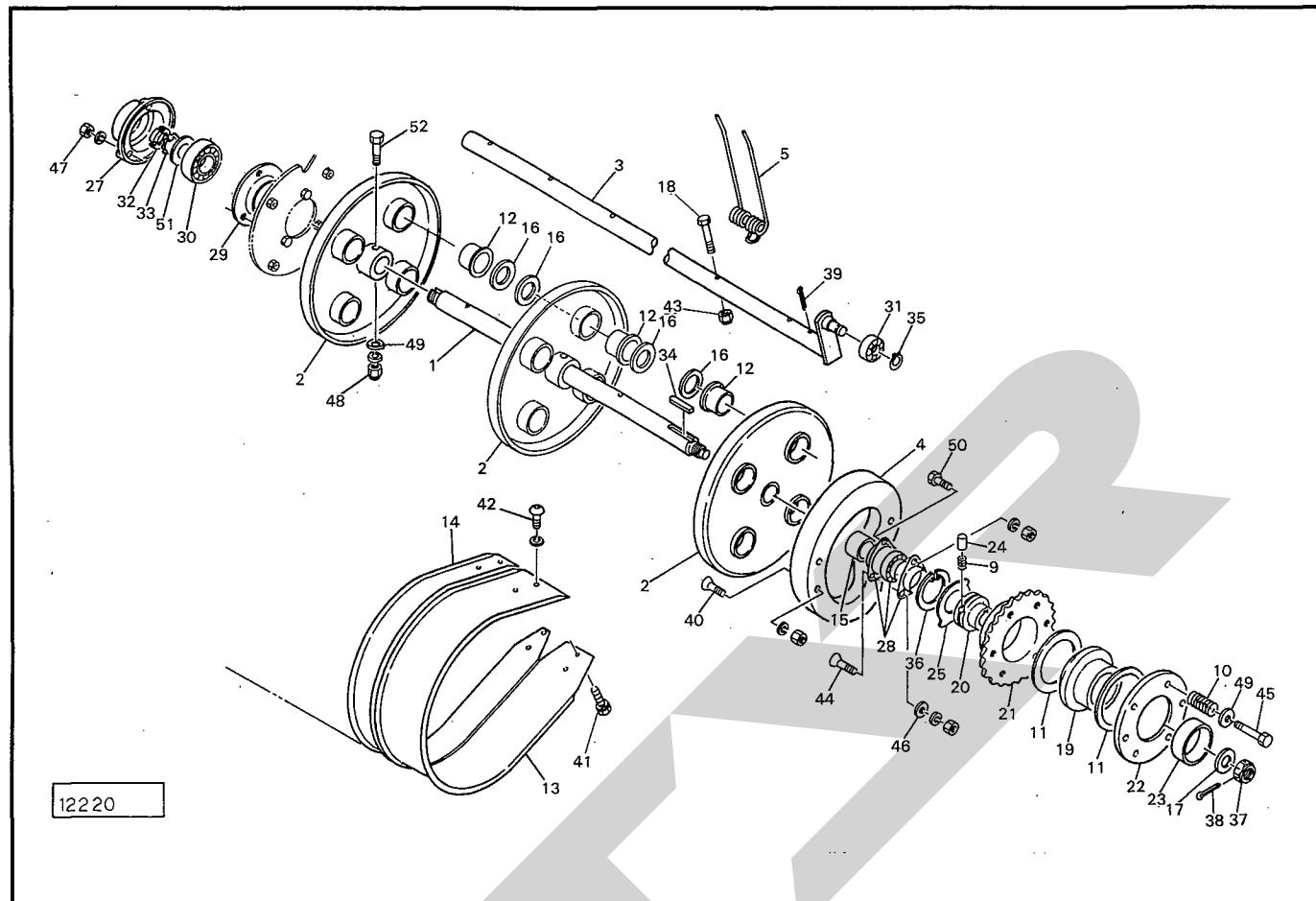
APU2500 ピックアップアタッチメント オーガ



12219

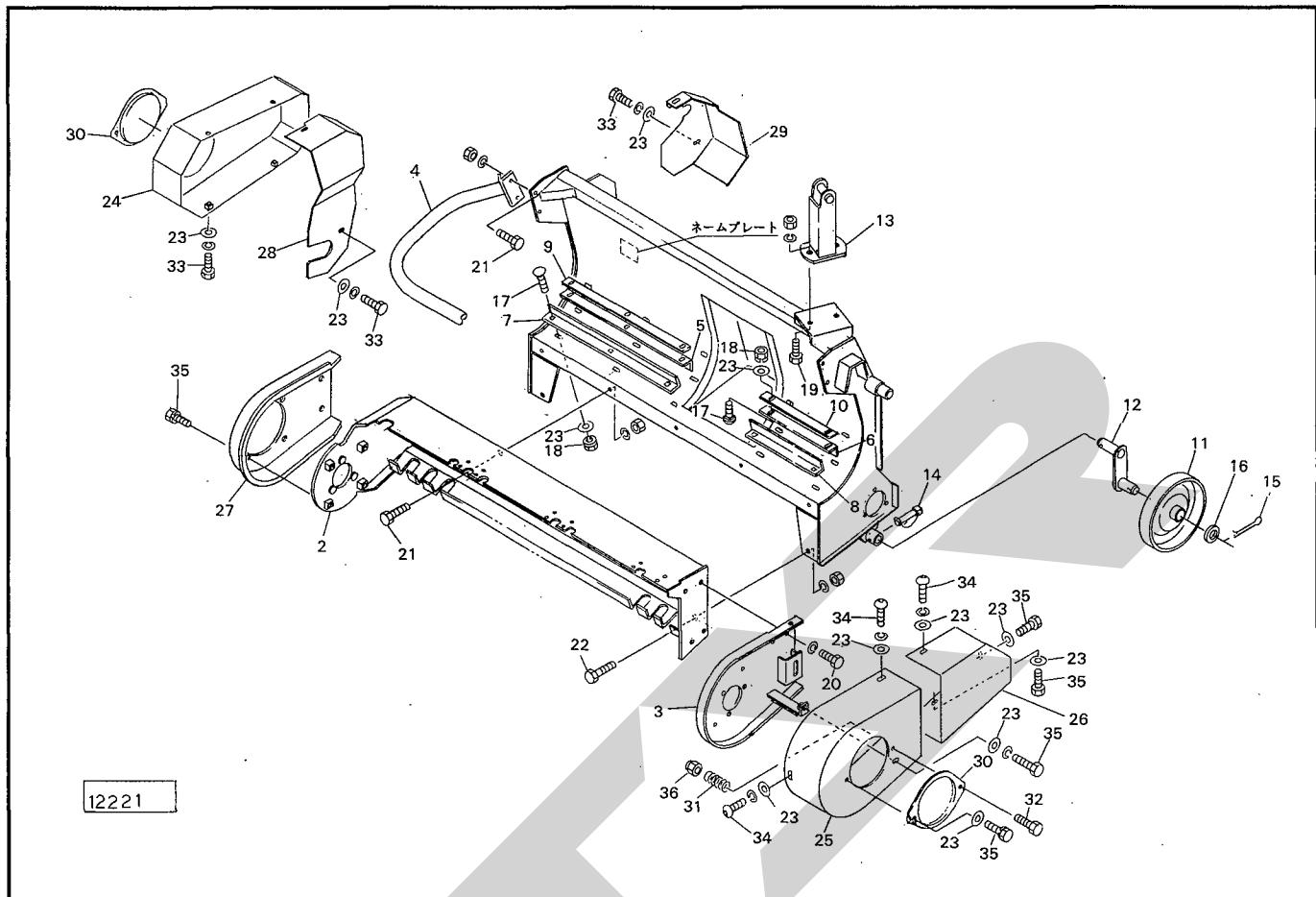
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
1	96974	オーガ	1	26	BZ1030WG	ボルト ; M10×30 (8.8)	3
2	96976	アーム ; R	1	27	NZ14WG	ナット ; M14 (8.8)	1
3	96978	アーム ; L	1	28	NN16G	ナイロンナット ; M16	2
4	85458	テンショナ	1	29	44098	ワッシャ ; 10	11
5	82483	ロッド	2	30	72968	ワッシャ ; 14	1
6	70906	ボス	1	31	42322	ワッシャ ; 16	2
7	70907	プレート	1	32	BZ1225WG	ボルト ; M12×25 (8.8)	1
8	70908	スプロケット ; 36T	1	33	67931	ワッシャ ; 12	1
9	70909	ブッシュ	1				
10	70910	フェーシングプレート	2				
11	70922	カラー	2				
12	63523	スプリング	2				
13	63313	スプリング	8				
14	73005	クッション	2				
15	J6206LLU	ペアリング ; 6206LLU	5				
16	DHC62	スナップリング ; H62	6				
17	LD5066	ローラーチェーン ; 50×66 (18+19(2個)付)	1				
18	AA50	ツギテ ; 50	1				
19	AD50	1ピッチオフセット ; 50	2				
20	46001	ワッシャ	3				
21	NC2L20150G	キャッスルナット ; M14 (2種低形)	1				
22	PC3232G	ワリピン ; 3.2×32	2				
23	PC4032G	ワリピン ; 4×32	1				
24	BAAZ1070NG	ボルト ; M10×70 (8.8) (全ネジ)	1				
25	BZ1070G	ボルト ; M10×70 (8.8)	8				

APU2500 ピックアップアタッチメント リール



番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
1	96979	シャフト；ピック	1	29	PF206	フランジ；PF206	1
2	86237	タインプレート	3	30	JAS206	ペアリング；AS206	1
3	94893	タインバー	4	31	JSBX0126LLU	ペアリング；SBX0126LLU	4
4	79282	カム	1	32	NJAN05	ペアリングナット；AN05	1
5	85224	タイン	36	33	WAN05	ペアリングワッシャ；AW05	1
				34	KFB07070400	キー；7×7×40(片丸)	1
9	63268	スプリング	2	35	DC12	スナップリング；S12	4
10	43249	クラッチアジャストスプリング	6	36	DHC68	スナップリング；H68	1
11	43248	フェーシングプレート	2	37	NC2L20150G	キャッスルナット；M20×1.5(2種低形)	1
12	64035	ナイロンブッシュ	12	38	PC3232G	ワリpin；3.2×32	1
13	96980	ロータフラッシュ	1	39	PC5056G	ワリpin；5×56	8
14	85222	ロータフラッシュ	17	40	BJ0825AG	ロッカクアナサラボルト；M8×25(10.9)	4
15	86981	カラー；30.5×48	1	41	BP0820G	スプリングボルト；M8×20(4.8)	36
16	65487	シム；35×1.2	16	42	RB0820WG	ボタンコネジ；M8×20(10.9)	38
17	46001	ワッシャ	1	43	NN08G	ナイロンナット；M8	36
18	BZ0850G	ボルト；M8×50(8.8)	36	44	BJ0830AG	ロッカクアナサラボルト；M8×30(10.9)	1
19	46050	ピックアップクラッチ	1	45	BZ1070G	ボルト；M10×70(8.8)	6
20	46051	クラッチボス	1	46	44097	ワッシャ；8	1
21	80204	スプロケット	1	47	NZ10WG	ナット；M10(8)	3
22	43246	クラッチロックプレート	1	48	NN10G	ナイロンナット；M10	2
23	44088	クラッチロックブッシュ	1	49	44098	ワッシャ；10	6
24	63267	ピン	2	50	BZ1025AG	ボルト；M10×25(8.8)	2
25	63269	プレート	1	51	60807	ワッシャ	1
27	82503	フランジ	1	52	BZ1070WG	ボルト；M10×70(8.8)	2
28	JASPF206	ユニットペアリング；ASPF206	1				

APU2500 ピックアップアタッチメント フレーム・カバー



番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品名称	商品名称	個数
2	97004	ピックアップフレーム	1	27	82623	カバー；R	1
3	82491	サイドプレート	1	28	96967	カバー；R	1
4	97012	ガード	1	29	96968	カバー；L	1
5	97013	アングル1；R	1	30	56924	フランジ	2
6	97014	アングル1；L	1	31	43299	カバーロックバネ	2
7	97015	アングル2；R	1	32	BZ0840G	ボルト；M8×40 (8.8)	2
8	97016	アングル2；L	1	33	BZ0820WG	ボルト；M8×20 (8.8)	8
9	97017	スクレーパ；R	1	34	RB0820WG	ボタンコネジ；M8×20 (10.9)	3
10	97018	スクレーパ；L	1	35	BP0820G	スプリングボルト；M8×20 (4.8)	11
11	67914	ホイール	2	36	NN08G	ナイロンナット；M8	2
12	82620	ステー	見15付	2			
13	95537	チャンネル	1				
14	00453	デルタピン；9	2				
15	PC5036G	ワリピン；5×36	2				
16	60807	ワッシャ	2				
17	55474	カクネボルト；M8×20 (8.8)	15				
18	NP08G	スプリングナット；M8	15				
19	BZ1030AG	ボルト；M10×30 (8.8)	2				
20	BZ1025WG	ボルト；M10×25 (8.8)	4				
21	BZ1025AG	ボルト；M10×25 (8.8)	9				
22	BZ1230AG	ボルト；M12×30 (8.8)	2				
23	44097	ワッシャ；8	33				
24	97019	カバー	1				
25	82621	カバー；F	1				
26	97020	カバー；RE	1				

安全鑑定合格機

(型式について)

お買い上げいただきました本機フォレージハーベスターの当社型式MF H2520とMF H2530は、いずれも安全鑑定型式 **スターMF H25** で安全鑑定に合格しており、この内容で本機に銘板を貼付しております。ご了承ください。

安全鑑定型式	当社型式名(区分)	仕 様	安全鑑定番号
スターMF H25	MF H2520	リバース専用	16144
	MF H2530	リバース&サイドマウント	

本 社 066 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

小山事業所 307-02 栃木県小山市梁2512-1
TEL 0285-49-1400
FAX 0285-49-1410

千歳センター 066 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-26-1126
FAX 0123-23-0517

小山センター 307-02 栃木県小山市梁2512-1
TEL 0285-49-1430
FAX 0285-49-1440

札幌営業所 066 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

旭川営業所 070 旭川市神楽4条9丁目3番31号
TEL 0166-61-6131
FAX 0166-62-8985

豊富出張所 098-41 天塙郡豊富町字上サロベツ1191番地
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-24 带広市西22条北1丁目12番地
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

北見出張所 090 北見市小泉302
TEL 0157-24-3880
FAX 0157-61-1344

中標津営業所 086-11 標津郡中標津町北町2丁目16番2
TEL 01537-2-2624
FAX 01537-3-2640

盛岡営業所 020-01 岩手県盛岡市みたけ2丁目4番7号
TEL 0196-41-4811
FAX 0196-41-5529

仙台営業所 985 宮城県多賀城市町前2丁目87番地
TEL 022-367-4573
FAX 022-367-4846

関東営業所 307-02 栃木県小山市梁2512-1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

名古屋営業所 480-01 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191
TEL 0587-93-6888
FAX 0587-93-5416

松本出張所 399 長野県松本市芳野14番10号
TEL 0263-27-0897
FAX 0263-27-1449

岡山営業所 700 岡山県岡山市下中野704-103
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊本営業所 862 熊本県熊本市長嶺町2255-429
TEL 096-381-7222
FAX 096-384-3525

南九州営業所 885 宮崎県都城市都北町3537-1
TEL 0986-38-1045
FAX 0986-38-4644